

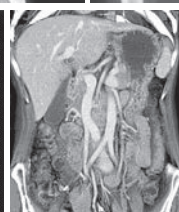
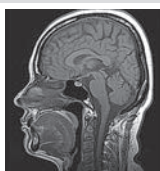
RT journal

JOURNAL OF THE ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS

No.40
2011.5

Contents

1. 巻頭言 木口雅夫 1
2. 総会案内 3
3. 研修会案内 4
4. 60周年記念座談会 7
5. レントゲン週間イベント 豊田隆繁 15
6. ピンクリボン取り組み 海老谷京子・新藤陽子 18
7. 施設紹介「神原病院」 畑 美幸 24
8. タイ国立ラジャピチ病院訪問 二見智康 27
9. 学会参加記(中国四国フォーラム) 河合信太郎・鶏冠井佳奈 30
10. RSNA参加記 森本 章・奥 貴行 32
11. 役員紹介 37
12. 平成22年度支部活動報告 41
13. 議事録 45
14. 会員情報・互助会報告 55



公益社団法人 広島県放射線技師会 会誌
〒732-0826 広島市南区松川町1-15 ポエム松川303 TEL.FAX 082-263-7753
<http://www.urban.ne.jp/home/hart>

巻頭言

安全と安心



公益社団法人広島県放射線技師会 副会長 木口 雅夫

このたびの東日本大震災にて被災された地域の皆様、ご関係の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈りしております。

2011年3月11日、東日本を襲った国内至上最大の地震と津波により数多くの方が犠牲になった、まさに未曾有の災害であった。想定外の津波により東京電力福島第一原子力発電所も被害を受け、3月12日の水素爆発により大量の放射性物質が放出された。1か月以上たった今でも収束の兆しは見られず、その後の対処も影響して国際原子力事象尺度評価（INES）は最悪のレベル7まで上げられた。

周辺住民も避難指示区域も、3kmから10km、20km、30km屋内退避指示と拡大したが、その後の環境調査から計画的避難区域、緊急時避難準備区域、20km警戒区域（強制的に立ち退き、立ち入りを禁止）が設定され、国の対応の遅れも問題となっている。

広島大学は西日本ブロックの三次被ばく医療機関であり、三次（重傷）緊急被ばく医療の受け入れ施設として、広島地区の緊急被ばく医療協議機関とともに今回の放射線災害に対応している。これに基づき広島大学の緊急被ばく医療派遣チームに派遣要請があり、震災発生の翌日から被災地へチームを派遣して医療活動を行っている。医師、放射線技師、看護師、事務員6名からなる班編成で4月28日現在12班まで派遣している。

私自身も3班、10班として3月19日、4月16日から各

5日間福島県庁に設置された緊急事態応急対策拠点施設（オフサイトセンター）、緊急被ばく医療調整本部、二次被ばく医療機関である福島県立医科大学附属病院で支援活動を行ってきた。全国各地から集まって来られた放射線技師、医師、大学教員、電気事業連合会員から構成される30チーム以上、約150名のサーベイヤーの調整、スクリーニングサーベイ集計、避難住民スクリーニング、二次緊急被ばく医療への対応が主な業務であった。支援活動された放射線技師は、主に自治体チーム、大学病院であるが、広島県からも放射線被曝者医療国際協力推進協議：HICARE（広島赤十字・原爆病院）、広島市（広島市民病院）、福山医療センター、国立病院チーム等が編成されて活動されていた。

日本放射線技師会からも3月16日から4月17日までに11班のサーベイヤーが派遣され、地元福島県放射線技師会とともに福島県内の避難所で活動されてきた。また、ご遺体の検視前のサーベイも福島県警察本部からの要請により対応している。

スクリーニングレベルは、100,000 cpmまたは1 μ Sv/h（10cmの距離）とされ、13,000 cpm以上100,000 cpm未満の数値が検出された場合には、部分的な拭き取り除染を行うものとされている。これは、放射線管理者としては、レベルの設定に疑問を持たれると思うかもしれないが、国際原子力機関（IAEA）「放射線緊急事態の初期対応マニュアル」において規定した一般住民の体

表面除染に対する除染基準考慮を採用したものであり、避難住民の「安全・安心」を考慮したものである。この結果、3月13日から4月22日までで約17万人がスクリーニング検査を受けられ、健康に影響を及ぼす事例は見られていない。

毎日、朝・晩のスクリーニングチームの調整会議では、スクリーニングサーベイをしながら放射線レベルが「安全」であることを説明して、「安心」して帰っていただくことを周知徹底し、各会場で対応が異ならないように情報共有をしてきた。安全の証明であるスクリーニング済証の発行についても、厚生労働者からスクリーニング済証を発行しないように通達 came が、証書がない医療機関受診、避難所受け入れされない現状を踏まえて、福島県では、この通達を無視する（証明書を引き続き発行する）「安全」策を強行している。

「安全と安心」。我々が通常行っている診療行為にも該当する共通のことばであり、日常点検・管理、患者さんへの説明、マニュアルに沿った診療、インシデント事象による検証・再発防止策、職員情報共有・認識など、これらを維持・努力することが大切である。また、放射線の専門家として一般の方々、特に避難住民にもっと放射線の安全性、有益性について理解を深めてもらうよう努力も必要である。

放射線による被害がいつ収束するかはわからないが、全国の保健医療に携わっている人々が、一致協力して医

療支援で貢献できたことは大変有意義なことだと思う。

今後、継続した支援活動に期待するとともに、診療放射線技師が貢献できるような基盤づくりと適切な対応、迅速な行動力が必要と考える。

会 告

会員各位

公益社団法人広島県放射線放射線技師会
会長 北川 明宏

平成22年度定時総会開催のお知らせ

公益社団法人広島県放射線技師会定款に基づき下記のとおり総会を開催いたします。会員皆様にご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時 平成23年 5 月29日(日) 15 : 15～16 : 30
場 所 広島市民病院 10階 大講堂
広島市中区元町 7 番33号
(公共の交通機関でお越しく下さい)

- *参加できないな方は必ず委任状を提出して下さい。
- *総会資料をご持参下さい。

以上

お知らせ

平成23年度第1回（公社）広島県放射線技師会研修会

平成23年度第1回の研修会を下記の要領で開催いたします。

F P D技術、医療情報システム、救急C Tの読影についてなど、興味深い内容について県内各方面で活躍されている先生方にご講演いただきます。

会員のみならず、他職種の方々でもご参加いただけますので、是非、皆様お誘い合わせのうえにご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

記

日 時 平成23年5月29日（日） 10：30～16：30

場 所 広島市民病院10F大講堂
〒730-8518 広島市中区基町7番33号
(公共の交通機関でお越しください)

参加費 会 員 無料
非会員 1,000円

内 容

- | | | |
|-------------|---|----------------------|
| 10：30～11：30 | F P Dトモシンセシスの技術と臨床について
「一般撮影領域」 GEヘルスケア・ジャパン(株)
I&XI Sales&Marketing 部 X線営業部 営業技術 Gr
「乳房撮影領域」 シーメンス旭メディテック(株) | 海野 柔 先生
大塚 恭一 先生 |
| 11：30～12：00 | 東日本大震災 緊急被ばく測定の活動報告
広島市立広島市民病院 放射線科 | 清水 聖子 先生
西原 精人 先生 |
| 12：00～13：00 | 休憩 | |
| 13：00～14：00 | 技師のための救急C T読影講座
～イレウスの治療方針はC Tで決めるんじゃ！～
広島市立広島市民病院 放射線科 主任部長 | 浦島 正喜 先生 |
| 14：00～15：00 | 標準化と法令・ガイドラインに見る医療情報
広島大学病院 診療支援部 | 相田 雅道 先生 |
| 15：15～16：30 | 平成23年度（公社）広島県放射線技師会 総会 | |

提案（会費）

会員各位

公益社団法人広島県放射線放射線技師会
会長 北川 明宏

会員の皆様には、平素より技師会活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

広島県放射線技師会は平成19年度より単年度で赤字決算となっております。総会で会費値上げの提案をしましたが、まずは経費削減の努力が必要との意見により支出の見直しを行ってきました。

会誌の発送を郵便から宅配便へ変更、ソフトボール大会の経費を完全別会計、企業への広告掲載依頼、等に取り組んで参りました。しかしながら、景気低迷により榎殿基金や石井基金の運用もままならず、加えて事務所経費の値上げ、広告収入の落ち込み、会員の減少、公益化に伴う税理士顧問料の発生、等々により財務はさらなる悪化を呈しております。

広島県放射線技師会は会費7000円を20年間値上げせずに維持して参りました。その間、近県の技師会会費との差はかなり大きくなっております。参考までに他府県の会費を下記に示します。

今回、適正な会務運営と健全な財務体質にし、さらなる会の発展を目指すために、会費の値上げに対しご理解をいただきますようお願いいたします。

総会にて提案いたしますので、皆様のご討議をよろしくお願い申し上げます。

同時に、入会金の廃止、産休育休中の会費免除制度等も同時に提案します。

広島県	7000円
-----	-------

島根県	10000円	岡山県	8000円	山口県*	9000円
鳥取県	9000円	徳島県	10000円	兵庫県	10000円
大阪府	10000円	福岡県	11500円	京都府	10000円

*山口県、入会金 30000円

受賞者のお知らせ

会員各位

公益社団法人広島県放射線放射線技師会
会長 北川 明宏

平成22年度第6回理事会におきまして槇殿賞・石井賞・奨励賞の表彰者について話し合った結果、受賞者は下記の通りとなりましたことを報告いたします。

各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。益々のご活躍を期待いたしております。

記

石井賞	小濱 千幸	JA広島総合病院
槇殿賞	舛田 隆則	医療法人あかね会土谷総合病院
奨励賞	西原 精人	広島市民病院
	酒井 貴文	県立広島病院
	横町 和志	広島大学病院
	鶏冠井佳奈	医療法人社団おると会浜脇整形外科病院
	松野 謙	医療法人一陽会原田病院

以上

公益社団法人化記念

座談会

～歴代会長と振り返る広島県放射線技師会の歩み～



平成23年3月8日、広島鯉城会館にて

(今田) 昨年は広島県放射線技師会創立60周年の年でした。記念事業も盛会裏に終了することが出来、その3ヵ月後には社団法人から公益法人へと、新たなスタートを切ることができました。この節目の年にあたり、歴代の会長、菊田元会長、谷口元会長、渡辺前会長、そして現会長の北川会長にお集まりいただき、広島県放射線技師会の歴史を振り返り、そして新しい会の方向性、展望についてご意見お聞かせいただければ幸いです。

本日、司会進行を努めさせていただきます、副会長の今田です、よろしくお願います。

ではまず、菊田元会長のほうから、会長時代にご苦労された話など記憶をさかのぼっていただけないでしょうか。

(菊田) まずは、当時（平成2年）の技師会は事務所を持っていませんでした。私の勤務地の呉国立病院へ事務所機能をもって行ったんですが、いろいろ不都合がありました。当時は全国の会長会議などでも、各県とも事務所を持つというのが当たり前になりつつあった時代でした。そこで、広島県もぜひ事務所を持とうということになりました。このことにより、大変心苦しかったのですが会費の値上げをお願いしなければなりません。この時に会費4000円から7000円へと値上げさせていただきました。しかし、この時に今の松川町へ事務所を設立できたというのは、大きなことだと思います。

次に、平成元年頃より、全国統一講習会が開催

されました。広島でも色々な内容の講義を組まなければなりません。講師を依頼するのに技師関係や医療関係は比較的好ましいしやすかったのですが、一般教養的な内容が大変で広島大学や近畿大学、広島県の福祉局などへお願いに走り回ったことが思い出されます。

会長になって、2、3年目でしたかね、三原に医療短期大学ができるという話を持ち上がりました。当時、日本放射線技師会としては、藤田保健衛生大学、鈴鹿医療科学大学と4年生の放射線技師の大学が出来てきていたので、どうしても技師の教育は短期大学ではなく4年制の大学でなければならないという方針が出されていました。だから、当時の中村会長は日放技は認めることはできない、なんとしても4年制にするよという指示が出され大変でした。中四国の会長さんにもお願いしたり、会員に署名活動してもらったりして県知事に陳情に行きました。当時の大学設立委員会のメンバーは他の学科は全国の会長が委員を務めていたけど、放射線学科だけは広島県の会長が委員ということになり、交渉面でも色々大変でした。3年制大学の設立には反対活動をしながら、設立委員の会議には出席しなければならず、難しい立場でしたよ。しかし、一方では九州に放射線の専門学校が出来るとい話も出てきて、だんだんと短期大学への反対活動にも疑問が生じてきたわけですよ。

(北川会長) 確か、当時中国新聞に、論説か何かの記事を書かれましたよね。あれはどういう経緯だったのですか。

(菊田元会長) そうですね、当時大阪の医療短期大が4年制へ移行することが決まっていたから、その教授から資料をいただいて、4年制の大学と短期大学では教育として全然違うんだ、ということを訴えたかったんです。これからの放射線技師教育はもちろん4年制大学で行うのが当然に



菊田泰巨 元会長 (平成2年～5年)

なってくる、ということですよ。

しかし、この新聞記事が出たことで、大学設立委員長から、もうこれ以上の反対活動はしないよという苦言をいただくことになりました。

もう少し、早い段階でこの計画を知っていれば色々なことができたかもしれませんが、ほぼ計画は出来上がった状態でしたから、反対活動といっても本当に難しかったですよ。

(今田) しかし、その当時から教育は4年制でなければ駄目なんだ、と強く打ち出したのは放射線技師だけであり、他の職種より教育に関する取り組みは進んでいたという表れでもありますよね。

(菊田元会長) 日放技としても鈴鹿にも出来たし、これからは4年制大学でなければという勢いがありましたね。

(渡辺前会長) 私も当時の反対活動に関しては、徳島の村上会長からもそれは大変だったという話を聞きました。中四国の会長会議に中村会長が来られて大変強い口調で言われていたと。

(菊田元会長) また当時、広島大学に、看護、理学、作業の4年制の保健学科ができるという話もあり、それに放射線も加えてもらえないかというお願いにも行ったが、その時すでに三原の県立だけでなく黒瀬の国際大学の計画も出ており、広島

大学の保健学科には到底無理な話でした。

(谷口元会長) 当時は、行政の持っている病院に関するデータと技師会のほうで随分食い違いがあり、とにかく放射線技師は足りていないんだから早く学校を広島にも作れと、いうムードがありましたよね。

(北川会長) CTやMRがどんどん普及し始めた時期であり、医師会も足りないという認識でしたね。

(今田) 学校の問題は今も解決してないし、今もって専門学校でも良いし4年制大学でも良いわけですよ。

(谷口元会長) 結局は免許制度だから、国家試験の受験資格が得られれば良いという形になってますよ。

(北川会長) 受験資格を4年制大学でないと得られない、という方向に技師会としては法律を変えていこうと取り組んではいます。薬剤師は大学が6年制になったようにですね。

しかし、今は政治も混乱しており、どの政治家、党にアプローチすべきかも分かりにくい状況なんです。

(今田) 菊田会長時代の、何か楽しい思い出はございませんか。

(菊田元会長) そうですね、当時もソフトボール大会は人気でした。特に家族で参加される方が増えてきてたので、試合だけではなく、ニアピンゲーム、ドラコン大会など子供も参加できる工夫をして大変喜ばれましたね。

また、研修会では新人と技師長の集いを開いたり、女性技師の集まりを持ったりしました。座談会形式で色々な話題をしましたね。

(北川会長) 今年から、日放技も新人技師のための研修会を企画しています。

(今田) では引き続きまして、谷口元会長より会



谷口金吾 元会長 (平成6年～13年)

長時代の思い出などお話しいただけますか。

(谷口元会長) 私は当時、技術学会の役員もしていたりして技師会活動からは少し離れていたんですが、会長をやるように言われて就任しました。全国の会長会議で中村会長から大丈夫かと、心配されましたよ。

まず、当時手をつけたのは、支部を分けるということをしました。現在の8支部体制はその当時に出来たものです。

後はですね、色々な寄付金を集めるのに苦労した覚えがあります。鈴鹿に大学院を作るとか、教育会館や記念講堂を作るとかで、次々日放技から寄付金のノルマが各県単位に下りてきて、会長会議の度に達成率の悪い県ほど席順が前の方だったりして大変でした。

広島県はまあいつも平均的なところでしたね。

(渡辺前会長) 確か一人一万円くらい寄付を求められた記憶がありますよ。

(谷口元会長) あとはですね、黒瀬に国際大学ができたのが大きなことでしたね。当時は100人募集するというので技師会にも提案があったんですが、実習を含めそれは多過ぎるということで50

人に落ち着きましたね。こちらは4年制大学だったから、日放技も三原のときのような反対はありませんでした。教員もかなり決まっていたので比較的スムーズに進みましたね。私にも教員の依頼があったのですが、お断りしました。

(今田) 実習病院の割り振りとかはどうだったんでしょう。

(谷口元会長) まずは三原がすでに決まっていたから、それ以外に割り振っていきましたよね。広島大学は両方から受け入れていました。

それから、アジア競技大会も大きなイベントでした。会場近くの診療所に放射線撮影室を作って、そこで歯科の撮影と、CRでの一般撮影を行うことになり、日々各病院で割り振って期間中手伝っていただきました。

(今田) 50周年記念誌にまとめが書かれていますが、国別受診者統計ではカザフスタンが35名と一番多いですね。確か、歯科の撮影が多かったような。

(北川) その時、予算は多かったんですか。

(谷口) そうでもなかったですね。撮影装置は東芝さんからポータブル装置を借りて、CRは富士フィルムさんから借りました。確か、参加した人には大会の方から記念の時計がプレゼントされました。

(今田) 撮影に協力した技師は延べ110名と記録されています。デンタルの撮影経験者が少なかったですよ。撮影件数はデンタルが92名、パントモ100名、下肢撮影107件とあります、歯科が多いですね。

(谷口元会長) 広大歯学部が大変協力してくれました。自国で診断治療するより競技大会で治療する方が安かったんでしょうね。

話は変わりますが、年5回の研修会ですが、参加人数が多くなる企画というのは大体、CTとか

MR、胃透視とか決まっていますが、技師会としては幅広い内容、たとえば被ばくの問題とか治療とか様々なテーマを取り上げなければならないと考えていましたが、参加人数が少なくて苦労しました。

創立50周年の記念事業も大きなイベントでした。以前、県庁に勤務する技師の方がおられた頃はその人を通じて手続きができていましたが、私の時は直接県庁へ出向かなければならず結構大変でした。その当時、藤田県知事さんはよくこういった記念行事に参加していただけたのは大変良かったのですが、やはりいろいろ気を使うことも多かったですよ。

また、広島大学病院が千葉の放医研と並んで国の被ばく医療の認定施設になるということで、こちらにも技師会会長という立場でも関与した記憶があります。

技術学会の県単位の支部がなくなった時期でもあり、技師会の方で撮影研究会やRI研究会、治療研究会をやろうとしましたね、でも予算がなく苦労しました。

少し違った話になりますが、岡山で技師会の全国学術大会が開催された時にゴルフ大会で私がホールインワンをしてしまって、その後がいろいろと大変でした。まあ、そんなこともありました。

(今田) 引き続き渡辺前会長のほうからお話いただけますか。

(渡辺前会長) 私は、谷口元会長より指名いただき、会長をさせていただくことになりました。ちょうどその頃、日放技の会長も中村会長から熊谷会長に替わった時でした。それによって色んなことが変わってきました。放射線技師の免許だけではなく、専門性を高めるという意味で放射線管理士、放射線機器管理士、医療情報管理士などの



渡辺和美 前会長（平成14年～19年）

認定制度が立ち上がり、各県単位で講習会を開かなければなりません。土日、土日と研修会を組んで半年近く行ないました。90名近い参加者があったように思います。広島、福山での会場の問題や講師の手配が大変でした。特に、放射線とあまり関係が無い分野、例えば気象学の講師もお願いしなければなりません。原発事故の時に天気図が理解できないといけないということだと思います。生涯教育を単なる研修会から認定資格制度としての研修会、講習会へ変わってきたのがこの頃です。

（今田）会長が熊谷会長になって、技師格という言葉がよく出てくるようになりましたよね。

（渡辺前会長）要するに、看護協会もそうだけど、専門性の高い認定制度は病院として標榜出来るような認定資格というものを模索し始めたのだと思います。

（北川会長）しかし、放射線技師の階層化によしと思わない会員からいろいろと問い合わせもありました。

（谷口元会長）元々は専門学校、短期大学、4年制大学と学歴が異なってきたので、4年制大学以外の人もこの技師格制度を利用すれば、つまりアドバンス以上を取得すれば技師会としては4年制大学卒業と同等と認めるという意味合いがありました。また、学術大会などでも座長をするにはアドバンス以上とか縛り設けたはずです。

（北川会長）今はその縛りはなくなりました。技師格制度の背景には技師免許の更新制度というものを考えていたんです。看護も医師もそちらに向いていましたし。教員がすでに更新制度になったことも影響してると思います。

（渡辺前会長）また、この頃からマンモの認定講習会も要望が高くなり、できれば医師会と共同で行なおうとしたこともあります。その時は同時講習会は足並みが揃わずできませんでした。技師だけで80名近くの参加者がありました。合格率向上のためにプレ講習会も行ないました。その時も、会場、設備、講師の選任、スタッフのお願いといろいろ準備が大変でした、新藤さんには大変お世話になりました。この頃から、マンモの認定資格が注目され始めたし、女性技師はマンモ要員としての需要が広がってきました。

公益事業ということで広島県の健康福祉祭へのブース出展とか、イオンモールソレイユでのレントゲン週間イベントなども行なうようになりました。当時、広島大学の山口さんが大変熱心に取り組んでいただき、県との交渉や、イオンモールとの交渉をやってもらって、それ以降技師会の事業として定着していきました。私も参加しました、病院を出て一般の人と健康のこと放射線のこと、画像診断のことなどを話したり、心配に答えたりすることは病院内の仕事とはまた違った意味でいい経験になりますし、楽しい経験でした。

(菊田元会長) その時、骨塩測定されているのですか。

(渡辺前会長) そうです、600~700人来られますよ。

(渡辺前会長) 風船のヘリウムボンベの準備とか、骨塩の装置のレンタルなど戸塚理事がやってくれました。前日の店が閉店してからの準備なので夜遅くなりなかなか準備が大変です。

(北川会長) 今年は、東芝さんがマンモの実際の装置を展示して実際の撮影の様子など説明していただきました。

(渡辺前会長) 当時、女性の理事を増やそうということで、理事3名に加わっていただきました。

それから、大きな出来事としては選挙がありました。いろいろ大変でしたけど、貴重な体験をさせてもらいました。歯科技工士の中西候補を、歯科技工士会と一緒に応援しました。看護、医師、薬剤師以外の医療団体に議員がないので、そこをまとめて一つの勢力として戦おうとしたのですが、残念な結果に終わりました。

やはり、職能団体として関連法案を改正しようと思うと議員を国会に出すことに尽きる訳ですよ。技師会としては初めての選挙戦だったけど、一定の成果はあったように思います。

(北川会長) 自民党から民主党に流れが変わった選挙だったから、逆風でしたね。やはり次回からは放射線技師から候補を出すべきでしょう。

(渡辺前会長) 先ほど菊田元会長から三原の大学ができるときのお話がありましたが、私の時にはその大学から放射線学科がなくなってしまいました。当時、技師会として県会の議長へ存続のお願いに行きましたが残念な結果に終わりました。

もう一点、中国四国地域で、放射線技師会、技術学会が別々に学術大会を開催していましたが、



北川明宏 会長 (平成20年~現在)

合同でフォーラムという学術大会を行うようになりました。これも、全国に先駆けての取り組みだったように思います。今では九州地域でも行われています。

(今田) では最後に北川会長お願いします。

(北川会長) 平成19年に会長就任しました。すでにその時には、法人の法律が改正になり、当時の法人はすべて衣替えが必要となりました。広島県放射線技師会も社団法人から公益社団法人を目指そうということは総会で決定されていたから、やるのなら早いほうがいいと思い、早速手をつけました。実際に定款改正やら申請の書類を作成し提出するとなると、なかなか自分たちだけでは手に負えるものではないと思い、行政書士の方に相談しお願いすることにしました。しかし、福山から出てくるのも大変で午後7時に待ち合わせて事務所で打合をしたり、土曜日に集まったりと時間を作るのが大変でした。

特に財務の整理が変わってそれに対応するのが大変でしたね。すべての領収書を公益と収益に分

けて整理しなければならず、面谷理事、事務所の本藤さんには大変な苦勞をかけました。11月に何とか書類を作成して県に提出しましたが、その後も修正が何度もありましたが、行政書士の人とメールでやり取りしながら書類作成しました。県との交渉ではこの書類作成が大変でした。それから、市と県への法人税の未納が分かり、これも市に5年分、県に3年分払いました。事業内容に関しての県の評価は、60周年の公開講座や県の健康福祉祭への参加も評価されていました。結局、財務を公益法人のやり方に合わせるのが一番大変で、税理士さんに依頼したり、専用のソフトを購入したりして、ぎりぎりで何とか間に合った状態でした。2月に公益法人が認可されましたが、全国の放射線技師会では一番初の認可となりました。今もって広島県だけです。私も色んなところに呼ばれて公益化の話させられました。確かに、収益事業多くて内部留保の多い団体は公益化が難しいかもしれませんが、あと、人数の少ない県もかなり難しいかもしれませんね。

広島県放射線技師会創立60周年記念事業は、乳がん患者の会の中川さんとも繋がりができて、大変いいものができたと思います。それ以降、年に1回は市民公開講座という形を行うようにしました。

(今田) 北川会長、ありがとうございました。

それでは、ここからは、広島県放射線技師会の将来展望につきまして、いろいろご提言いただきたいと思います。

(菊田元会長) 私の経験から申し上げますと、長年、放射線科医がいた施設に勤務してきましたが、現在のような放射線科医のいない施設移ってみて、やはり技師の仕事のあり方を考えていかなければならないように思います。診断という意味ではなく、読影できるかということが大事だと思

います。私どもの施設でもA Iに関わることがありますが、意見を求められたり情報を伝達しなければならない時があるように思います。経験ですが、A IでのC T検査をして、冠動脈の石灰化像から心筋梗塞の可能性を指摘したら、その後既往歴あったことがわかりました。このA Iに関しても放射線技師が何かもっと役にたつことができるように思いますので、こちらの方の取り組みをお願いしたい。

もう一点、これからさらに高齢化社会に向かっていくわけですが、高齢者や認知症の方など、ご本人からの情報があいまいな時があると思います。そのような時に本人の訴えはもちろん重要ですが、それだけに左右されず、全体的に捉えたり考えたりする力が求められてくると思うので、そういった臨床的な力をつけるような取り組みも大事ではないでしょうか。

(谷口元会長) 認定資格ができていますが、その更新がどの程度できているのか、県単位でも調べてみる必要があると思います。といたしますのも、放射線管理士にしても、更新時に技師長はいろんなことに関わっているのも更新しやすけど、一般の会員にはなかなか難しいと思うんです。このような認定資格を活かすためにもぜひ更新のシステムを再検討していただきたい。

(北川会長) 日放技の中澤会長は、更新がもっとし易い形を考えているようです。加えて、病院として標榜できる資格として認められるよう、現在模索中です。

(渡辺前会長) 放射線技師の仕事として将来残っていくようなことを考えなければいけないと思います。そのためには、やはり読影できる技師にならなければいけないと思います。すでに、国家試験やマンモの認定試験、消化管造影の認定試験に

してもどれも画像の読影問題が出題されていますよね。すでに、読影が求められているわけですから。

(菊田元会長) 私も、頸部と腹部の超音波検査を行っていますが、レポートを添えて出していますよ。

(渡辺前会長) やはり画像に報告書を付けて出すことが技師の仕事とならなければいけないと思いますよ。

(今田) 同じく形態診断という意味では、臨床検査技師の中の細胞検査士という資格で報告書を作成し病理医と協力してやっていますよね。

(渡辺前会長) 日放技の問題ですが、色々な企画を出してくるけども、そのフォローアップ体制が十分ではないように感じられます。ですから、企画を考え実行していく人達と、フォローアップする人とは違う立場で取り組んでいく方がよいと思います。

(北川) 3時間にわたり、広島県放射線技師会の歩みを3人の元会長からお聞きすることで、また将来への提言もいただきました、大変貴重な時間でした。先輩方の築いてこられた歴史あるこの会を、これから公益社団法人としてさらに発展するよう、現執行部一同頑張っ参りたいと思います。本日は長時間、ほんとうにありがとうございました。



(上段左より) 今田副会長・北川会長・木口副会長・面谷常務理事
(下段左より) 菊田元会長・谷口元会長・渡辺前会長



レントゲン週間イベント2010 —「がん検診に行こう！」—

尾道市民病院 豊田 隆繁

毎年恒例となっております、レントゲン週間のイベントを11月3日に10時から17時まで、イオンモール広島府中ソレイユ1階スターギャラリーで開催いたしました。2003年に日本放射線技師会が『レントゲン週間』を制定して、全国でイベントが開催されるようになりました。当広島県放射線技師会でも2005年から11月3日の文化の日にイベントを開催しています。今年は公益社団法人となって初めてのレントゲン週間イベントであります。「不特定かつ多数の利益に付与するもの」という公益社団法人の規定に当てはまるイベントです。さらに広島県「がん検診へ行こう」推進会議の会員でもあるため、サブタイトルが「がん検診

に行こう！」になりました。

当日の朝晩は肌寒さを感じますが、晴天にも恵まれて穏やかな一日でした。イベントの内容としては「健康診断に関する各検査についてのパネルを設置」「放射線に関するパネルを設置」「おもしろX線写真の展示」「ピンクリボンコーナー」「風船無料配布」「超音波骨密度の無料測定」を行いました。今年は午前中にテレビ局の取材がありました。私たちは見る事が出来なかったのですが、お昼前のニュースで放送されたそうです。そのおかげもあり、午後からはますます多くの人の参加がありました。

「健康診断に関する各検査についてのパネル設



置「放射線に関するパネル設置」についての内容は、マンモグラフィー、CT、MRI、PET等の各検査の説明をパネルで紹介しました。一般の方に各検査の特徴や区別がつくような内容となっています。同様に診療放射線技師についての説明もあり、われわれの職種を理解していただく内容となっています。レントゲン週間のもとの目的は診療放射線技師について一般の方に理解をしていただくことでした。出来るだけ多くの方にパネルを見ていただきたいので、その内容を簡単なクイズにしました。クイズに解答していただいた方を対象に、超音波による骨密度の無料測定を行いました。案内を担当するスタッフは、クイズに解答する方の質問に、丁寧に説明をしていました。



「おもしろX線写真の展示」についての内容は、携帯電話やゲーム機、アニメのキャラクタ、昆虫、お菓子などをX線撮影することで中が見えるので来場者の興味を引いていました。子供さんはもとより大人にも人気があります。



「ピンクリボンコーナー」の内容は、マンモグラフィー実機を見て触って体験、触診乳房ファントムによる触診体験、乳がん写真の掲載、ピンクリボングッズの販売などです。マンモグラフィー装置は、メーカーの方の協力により実機を設置できました。



「風船無料配布」については、例年どおり子供さんには大好評でした。風船の配布が終わった後も風船がもらえないかの問い合わせがありました。

「超音波骨密度の無料測定」については、メーカーのご協力で超音波による測定器を2台設置しました。2名の測定者と3から4名の説明者に分かれて適時交代をしながら対応しました。開店時間の10時過ぎこそ落ち着いていましたが、その後は絶え間なく人が訪れました。やはり今年もピーク時には15分程度の待ちになってしまいました。出来るだけ待ち時間を作らないように、スタッフ全員でがんばりました。終了時間の17時ごろにもたくさんの方が訪れて、骨密度測定はずいぶん時間オーバーとなりました。毎年来ていただいでい



る方もおられますので、今後も続けていけたら良いと思います。

今回は超音波骨密度測定（無料）が605名、マンモグラフィー実機を見て触って体験100名以上でした。来場された方の声としては

- ・CT検査（放射線を使用）とMRI検査（磁気を使用）の違いがよくわかった。
- ・なかなか骨密度を測る機会がないので、この機会に測ってもらい自分の骨密度がわかった。以後骨密度もさらには健康にも気をつけようと思う。
- ・マンモグラフィーは痛いと言った友人に聞いた。でも実際に（マンモグラフィーを）撮影している人に話を聞いたり、実際の機械に触れたり出来たので不安が少し和らぎました。今度乳房検診を受けてみようと思う。
- ・（検診でうける）検査での被ばくに不安があったが、今後は安心して検診を受けられる。
- ・普段見ることができない中身が見ることができておもしろかった。（面白X線写真コーナー）

などの声をいただいた。

最後に、今回参加いただいたスタッフの皆様ありがとうございました。事前準備から前日準備、イベント当日、当日の後片付けと大変だったと思います。皆様のおかげで今回のイベントを成功させることが出来ました。お疲さまでした。レントゲン週間の目的である、診療放射線技師や放射線診断に関すること、健康診断に関することについて啓蒙することが少しは出来たと思います。診療放射線技師として病院で患者さんに接するのは違う形で一般の方に触れることも出来るし、他施設の方とも触れ合うこともできる良い機会になると思います。日頃と違う体験が出来、自分磨きには良いことだと思います。初めての方でも大丈夫です。毎年11月3日に開催していますので、皆さんもぜひ参加してください。



ピンクリボン de カーブに参加して

JA 広島総合病院 中央放射線室 海老谷 京子

以前から、カーブの試合でピンクリボンのイベントがある事は知っていました。参加してみたいとチケットを購入したこともありましたが、当日他の予定で行けなくなり残念な思いがありました。今回このイベントへのボランティア参加という事で、待っていましたという感じで参加を決めました。

このイベントは、ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会が主催で、15の団体が構成されますが、広島県放射線技師会もこの中に入ります。マンモグラフィ検診を行う（財）広島県健康福祉センター、（財）広島県集団検診協会は共催で、他にも多数の企業や団体、メディアが協賛、協力、後援と参加しています。

当日朝の集合の挨拶の時、大学生を初め約100

名ものボランティアが参加している事に驚きました。また、以前から参加している看護協会、臨床検査技師会、薬剤師会の方たちは慣れた感じで、「今回初めての参加です」と放射線技師会を紹介された時には出遅れたような感じがしました。

私たち放射線技師会の仕事は、技師会からの呼び掛けに応じて協力いただいた（株）東芝メディカルシステムズのマンモ装置の設置してある外野ウッドデッキでの観客の案内、誘導、そしてマンモ装置の説明、乳房モデル自己検診指導の手伝いです。

お天気の心配もあったので、ウッドデッキにテントを張ってマンモ装置は設置してあり、雨が降りだしたら直ぐにシートをかけて閉鎖という事になっていました。また、ウッドデッキの入口側に



は、自己検診の学習コーナーを設けて6台の触診モデルの乳房が置いてあり、乳がんや自己検診について学んだ後、実際の検診装置に触れられるという配置になっていました。

午前10時開門で、観客が内野自由席に次々と入ってきました。午後2時の試合開始までが勝負かと思っていましたが、ウッドデッキの前を通る人は意外に少なく、大学生がプラカードを持って呼び込みをしていますが、立ち寄ってくださる方は極僅かでした。しかし、試合開始と共に前を通る観客も多くなり、呼び掛けに応じ立ち寄る方や、自分から興味を持って立ち寄る方と、試合の盛り上がりと並行して検診コーナーも盛り上がってきました。

最初声を掛けられ仕方なくコーナーに入ってきて、説明を聞くうちに興味が出て質問を沢山されて帰られる方もありました。また、このウッドデッキには『激突!天谷くん人形』があり、記念撮影の帰りに興味深げに触診モデルの乳房を見て説明を受けていく外国人男性や、遠く東京や横浜からカープの応援にきて、たまたま立ち寄って説明を聞き受診の意欲を持った方もありました。

私はこういったボランティアが初めてだったので、一般の方に自己検診の方法を説明する事も初めてでしたし、実際、私が自己検診を毎月行っているのではないので、

最初はちゃんと伝わったかと不安にも感じましたが、徐々に慣れてきて楽しく説明する事ができました。



印象としては、どの女性も乳がんに対する不安は持っているけれども、検診を受ける不安も多かったです。まず、どこで受ければ良いのか、どんな検査をされるのか、乳房を圧迫して痛いらしい、乳がんが見つかったらどうしよう等々。今回はマンモ装置も準備していただいたので、実際に乳房ファントムを着けて検診のように圧迫を体験してもらう事も出来、撮影方法も実際に説明出来て大変良かったと感じました。しかし、その

他は初めての事で何の準備もしていなかったので、(株)東芝メディカルシステムズの準備されたパンフレットやパネルを使って、自己検診の方法やどんな写真が撮影されるのかを説明しました。また、実行委員会で準備された乳がん検診の案内等を使って、検診クーポンや問い合わせ先のお知らせをしました。

これを踏まえ、次回参加する時には、実際の乳がんの写真やマンモグラフィ検診精度管理中央委員会の認定を受けている施設名等私たち放射線技師が提供できる情報を準備出来ると良いと感じました。実際、100部あった自己検診の方法のパンフレットは途中でなくなってしまったので、日常生活の中で出会う機会が少ないが情報は知りたいという思いは多いのではないかと感じました。

今回参加させていただいて、ボランティアしながらカープの試合を見られるかなと邪な考えもありましたが、実際は、沢山の方に立ち寄っていただき、20代前半の方から奥様と一緒に来られた旦那様まで、皆真剣に説明を聞かれるので、ホームランが出て「どっちが打ったの？」状態でした。しかし、皆さん検診は受けなくてはと思っていても重い腰が上がらなかったのが、今回のイベ

ントを機に受けてみようと思うと言って下さった方がいらっしゃったので、うれしくも思いましたし、また、受診率アップにこのようなイベントが必要なことも感じました。

私自身も一般の方のお話も聞けてとても勉強になったので、今後も可能な限り参加したいと思っています。次回は、参加する技師も増えてワイワイと協力出来ると、更に楽しいイベントになるのではと思いました。



「ピンクリボンキャンペーンin広島」の 参加報告

広島県放射線技師会 理事 新藤 陽子
(所属：国立病院機構東広島医療センター)

平成23年度、公益社団法人としてスタートした当会は、会員以外の方々にも開けた会へと変化し、社会に貢献できる存在でありたいと考えています。そこで、以前から構想のあった「ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会」への協賛活動を具体的に始める事としました。

ピンクリボン実行委員会の経緯ですが、「NPO☆未来」という男女共同参画を考える団体が2003年に発足し、2004年から他の市民団体や企業、職能団体などと共にピンクリボン実行委員会を立ち上げました。全国的にピンクリボンがブームとなりはじめた頃、広島でも街をピンク色に飾り付け、乳がんに関する講演会やトークショー、ウォーキングイベントなどが精力的に開催されておりました。

軌道に乗った実行委員会は、2007年から広島東洋カープ、サンフレッチェ広島、広島交響楽団の地元3大プロ集団と共に、ピンクリボンを世間に

広めるイベントを開始しました。チームの公式戦やコンサートに併せて様々な企画を展開しています。

その当時、当会は未だイベントに協力する体制ができておらず、会員からも「マンモグラフィを撮っているのは放射線技師なのに、イベントでア



広島交響楽団コンサートホールにて

「ピールが足りない事は寂しい」といった声を頂きました。確かに、我々から情報発信して活動していてもおかしくない状況であり、そこから試行錯誤の末、2010年より実行委員会に加わる事となりました。

2010年6月19日（土）「ピンクリボン de カープ」 in MAZDA zoom-zoom スタジアムへの参加をはじめ、10月24日（日）「ピンクリボン de サンフレッチェ」 in 広島ビッグアーチ、3月25日（金）「ピンクリボン de 広響」 in 広島市文化交流会館へ、技師会のボランティアと共に参加しました。協力して頂いたのは皆さん女性技師で、普段から乳がん診療に興味のある方々を中心に、カープ6名、サンフレッチェ3名、広響3名での参加となりました。各団体からのボランティアは数名～数十名と様々ですが、全体数では200名もの規模で運営するイベントもあるので、様々な立場の方と接して情報やエネルギーを交換し合えた

気がします。

各イベントではピンクリボン協賛チケットが事前に抽選販売されており、このチケットを購入された観客にはピンク色のイベントタオルや協賛メーカーのお菓子、飲み物、粗品などが配られます。割り引きチケットにグッズが付くので、かなりお得なチケットと言えます。また、その中の希望者に限り抽選でマンモグラフィ無料検診が受けられるという特典つきです。

マンモグラフィ検診は「広島県健康福祉センター」「広島県集団検診協会」の検診バスが配備され、それぞれの施設の技師によって行われます。各施設へ持ち帰って読影後、結果が受診者へ郵送されるということです。我々技師会のボランティアは、受診者に対し受診前の説明をしたり、今後の検診のすすめかたや、触診モデルを使って日々の自己チェックの大切さなどを説明しました。一度の検査結果に満足して継続性を失わない



広島ビッグアーチにて

よう、定期的な検査が必要である事を説明しました。

また、別のコーナーには東芝メディカルシステムズ（株）の協力でマンモグラフィ装置のデモ機を設置し、立ち寄る観客に我々がポジショニング用のトラスファントムを着て撮影の様子をデモしながら説明しました。

会場内にはピンク色のテントが幾つも立てられ、チケットの交換、ピンクリボングッズの販売、乳がん触診体験の説明などが行われました。安田女子大学の学生ボランティアも大勢参加していて、学園祭のように「くじ引き付きクイズラリー」を企画したり、グラウンドいっばいにダンスパフォーマンスを繰り広げたり、会場内をプラカードを掲げて宣伝して回ったりと積極的な動きをみせていました。とても元気を与える存在だと思いました。

私の感想として、ピンクリボンイベントが定着してきた昨今では、アピールすべき対象者を変えていかなければならないと感じます。これだけ乳がんケアが唱えられる時代になっても、無関心な世代や、遠巻きに見ている女性達に、いかに意識を変えてもらえるか。そのためにも、乳がんと関係のない野球やサッカーの試合、音楽鑑賞の場にイベントを持ち込む事で、男女を問わず幅広い層へアプローチができると感じました。「がん検診受診率50%以上」の目標を達成するには、広告や行政の動きだけでは到達が難しく、市民と個々に会話しアドバイスできる機会を有効に活かしていきたいと思います。

そして、何より自分達が必要とされる環境で、明るく活動できる事が素晴らしいと感じます。是非多くの方に興味を持って参加して欲しいと思っています。



施設紹介

社会医療法人 定和会 神原病院

畑 美幸

当院は1909年（明治42年）に診療所としてスタートし、昭和13年に現在の福山市赤坂町に移転し医院を開業しました。その後、現在の本館の建設、平成9年には新館の増築を行い、平成21年10月には特定医療法人から社会医療法人となり現在に至ります。病床数は一般病床が115床、老人保健施設が50床です。診療科は、現在15科で外科・整形外科・脳神経外科・内科・リウマチ科・皮膚科・歯科などです。

病院理念は『人 愛 絆』です。患者様ひとりひとりを大切に、医療は愛であることを理想とし、利害損得の無い医療、地域や全ての人々との絆を育てる医療を目指しています。

最近のトピックスとしては、平成21年にめでたく創立100周年を迎えました。100周年記念事業として、当院裏手にある愛宕神社で神事を行い、当院駐車場で神楽奉納を行いました。職員総出での準備は大変でしたが、病院関係者、患者様、地域住民の方々など多くの方が訪れてくださり、盛大に節目を祝うことが出来ました。

放射線科紹介

当院の放射線科は診療放射線技師6名（男3名・女3名）で構成されています。20～30代の若いスタッフが多く、全体的に年齢が近いこともあり、休憩時間などには仕事以外のプライベートな話でも盛り上がる和気あいあいとした楽しい雰囲気放射線科です。

業務内容としては、一般撮影、CT、MRI、マンモグラフィ、透視検査、血管造影、外科用イメージの使用など、使用モダリティは多岐に亘ります。主な使用機器は後に示す通りです。

24時間体制で救急対応しているため、日勤帯は5人で業務を行っていることが多いです。業務内容が多くバタバタと忙しい毎日ですが、ミスなどが起こらないようスタッフ間で連携を取りつつ、患者様に対しては笑顔で対応し、安心して検査を受けていただけるよう日々頑張っています。

平成20年より、マンモグラフィと歯科のパノラマを除く、全モダリティでモニター診断を導入しています。

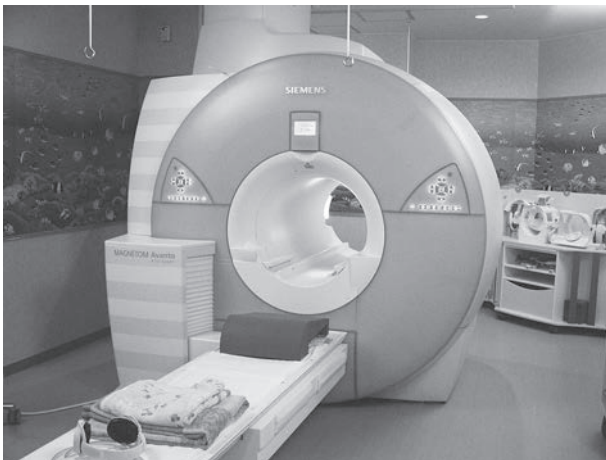
マンモグラフィは、福山市の乳がん健診実施施設にもなっており、精度管理委員会の認定を持った女性技師2名が対応しています。また最近では、平成21年に FPD のバイプレーン血管造影装置が導入されました。この装置はバイプレーンによる透視検査が可能だけでなく、シングルプレーンでコーンビーム CT を撮影することが出来るので、手技中に3DやMPR画像を作成し、腹部IVRをはじめ、頭頸部血管造影などの検査に活用しています。

また、整形領域では3Dガイディング機能を活用し、バイプレーン透視下での腰椎の椎体形成術を行っています。腰椎圧迫骨折で痛みを訴えられて来られた患者さんが、検査翌日にはほとんど痛みも無く、過ごしていらっしゃいます。やはり、患者様が喜んでいる姿は嬉しいものです。

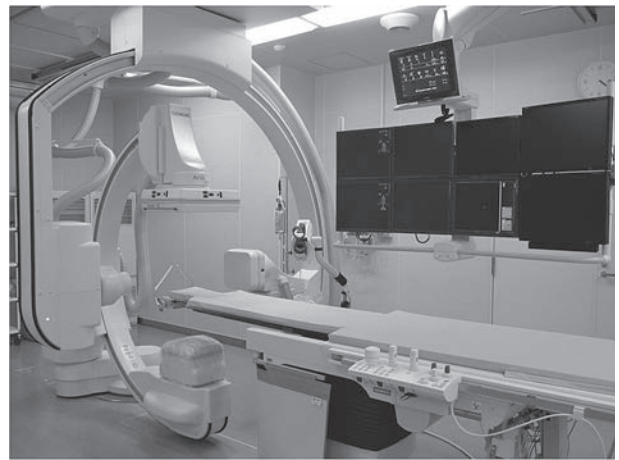
とりとめもなく紹介してきましたが、当院の様子はイメージして頂けたでしょうか。豊富な装置に恵まれて技師として最適な環境下で業務が出来ますが、まだまだ勉強不足な私たちです。今後も切磋琢磨し、患者様により良い医療を提供できるように日々研鑽し続けていきたいと思っています。



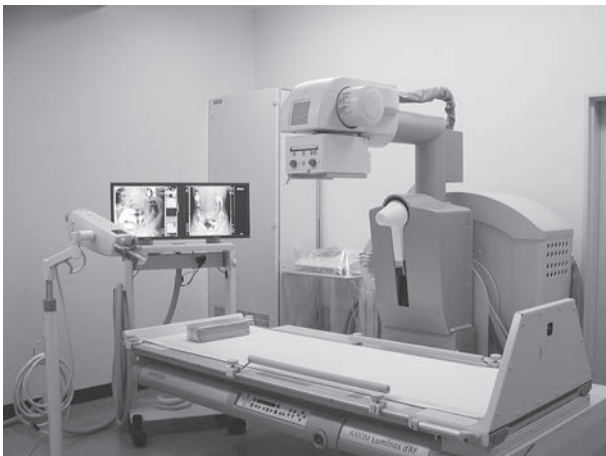
SOMATOM Sensation64 (SIEMENS) とスタッフ達



MAGNETOM Avanto (SIEMENS)



AXIOM Artis Zee biplane (SIEMENS)



AXIOM luminous dRF (SIEMENS)

主な放射線科装置

CT装置	SIEMENS	(SOMATOM Sensation64)
MRI装置	SIEMENS	(MAGNETOM Avanto)
血管造影装置	SIEMENS	(AXIOM Artis Zee biplane)
X線透視撮影装置	SIEMENS	(AXIOM luminous dRF)
X線TV装置	日立メディコ	(MEDIX-230XF)
乳房X線撮影装置	SIEMENS	(Mammomat1000)
一般撮影装置	日立メディコ	(DR-150-1)
一般撮影装置	東芝メディカル	(KXO-15)
回診用ポータブルX線撮影装置	SIEMENS	(MOBILETT XP ECO)
回診用ポータブルX線撮影装置	島津製作所	(MU125M)
パノラマ装置	朝日	(朝日レントゲンオートⅢ)
外科用イメージ	SIEMENS	(SIREMOBIL COMPACT L)
外科用イメージ	島津製作所	(WHA-50S)
骨塩定量測定装置	アロカ	(DCS-600EX-Ⅲ)
ワークステーション	Tera Recon	(Aquarius Net Station)
ワークステーション	KGT	(Real INTAGE)
医用画像情報システム	SIEMENS	(syngo Imaging XS)
CT造影剤注入装置	根本杏林堂	(デュアルショットType-D)
FPD造影剤注入装置	根本杏林堂	(Press pro)
MR造影剤注入装置	根本杏林堂	(ソニックショット 50)
血管造影造影剤注入装置	メドラッド	(Mark V plus)
自動現像機	FUJI FILM	(セプロスM2)
レーザーイメージ	FUJI FILM	(DRY PIX 2000)

病院概観



Rajavithi Hospital 2011: The Diamond Jubilee of International Medical Excellence に参加して

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 放射線科 二見 智康

平成23年2月20日から24日（4泊5日）の日程でタイ王国の首都バンコクにあるタイ国立ラジャビチ病院（Rajavithi Hospital）の創立60周年を記念し、開催された式典（図1）と医学会 22nd Rajavithi's Annual Academic conference <Rajavithi Hospital 2011: The Diamond Jubilee of International Medical Excellence>に参加してきました。*参加7カ国（タイ、日本、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、シンガポール、ブルネイ）（図2）

当センターの姉妹提携病院であるラジャビチ病院は、病床数1,200床、一日外来患者数3,000名、医師400人（そのうちレジデント200人）、看護師600人、薬剤師34人、放射線技師11人、理学療法士13人という、タイの中心的国立病院です。今回は、上池院長、青芝副院長、谷山臨床研究部長、加藤乳腺外科長、佐久間看護師長、筆者の6名での参加となりました。

初日は、広島から台北経由で新バンコク国際空港に降り立ちました。翌朝ホテルを出発し、式典、医学会参加のためラジャビチ病院に向かいました。病院玄関は色とりどりの花や垂れ幕で飾りつけられ、お祭りムードで王室を尊ぶ国家「タイ王国」を実感しました。本年の医学会は病院60周年の記念大会であり、タイ王国の Princess Chulabhorn Walailak 医学博士の特別学術講演がおこなわれる為、会場前で厳重なボディチェックを受けました。会場内では、Princess が退場されるまで写真撮影は一切禁止でした。開会前にはスタッフが何度も Princess をお迎えするリハーサルを行うなど緊張感が漂っていました。筆者は腹部 MRI 撮像に於ける navigator echo を用いた real time slice tracking と respiratory compensation の有効性に関するポスタープレゼンテーションを行いました。（図3）

医学会は、Princess による特別学術講演「大



（図1）Rajavithi 病院60周年記念パーティーにて、当センターからの記念品贈呈 Varnee 院長と上池院長



（図2）参加国の国旗が掲げられる会場

「気汚染と発がん」ではじまりました。その後、谷山臨床研究部長、加藤乳腺外科長、青芝副院長の順に学術並びに特別講演が行われました。昼食時には、各国発表者とラジャビチ病院医師、看護師が集まり、ラジャビチ病院栄養科で作られたタイ料理を頂きながら意見交換をしました。午後はラジャビチ病院を見学しました。放射線科では、技師長の Siripan さんに案内していただきました。その概要は、技師11人（男性4人、女性7人）、CT 64列 1台 45人/日（検査待ち2週間）、MRI 0.4T 1台 7人/日（検査待ち一か月）、一般撮影のみPACS運用（フィルムレス）、放射線治療IGRT（2か月待ち）というものでした。これらは決して最新の装置とはいえませんが、病床数1,200床、一日外来患者数3,000名に対して、少ない技師数で懸命に働いておられる様子を見て、自分の職場環境がいかに恵まれているかという実感と、贅沢な環境に慣れてしまって工夫が足りないのではないか、という自責の念を抱きました。

後日、もう一つの姉妹提携病院である QS-NICH（Queen Sirikit National Institute of Child

Health）病院にて、共同研究会議が行われ、併せて院内見学しました。（図4）ラジャビチ病院の隣に位置するこの病院は病床数402床、年間入院患者数約2万人、年間外来患者数3万5千人の小児専門病院です。会議の後、NICU、周産期母子医療センター、放射線科を見学しました。放射線科は、技師7人（男性3人、女性4人）、一般撮影装置3台、デジタルX線TV装置1台、ヘリカルCT（1列）1台が設置されていましたが、MRI装置は無く、必要な場合はラジャビチ病院に検査依頼するとのことでした。小児専門病院らしく装置のまわりや廊下には様々な飾り付けがなされていました。（図5）各階の待合フロアには、終日、多くの親に抱きかかえられた患児たちが、座る場所も無くひしめきあっていたのが印象的でした。

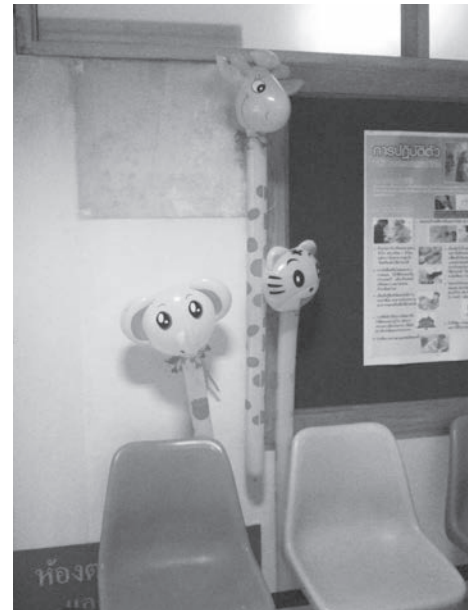
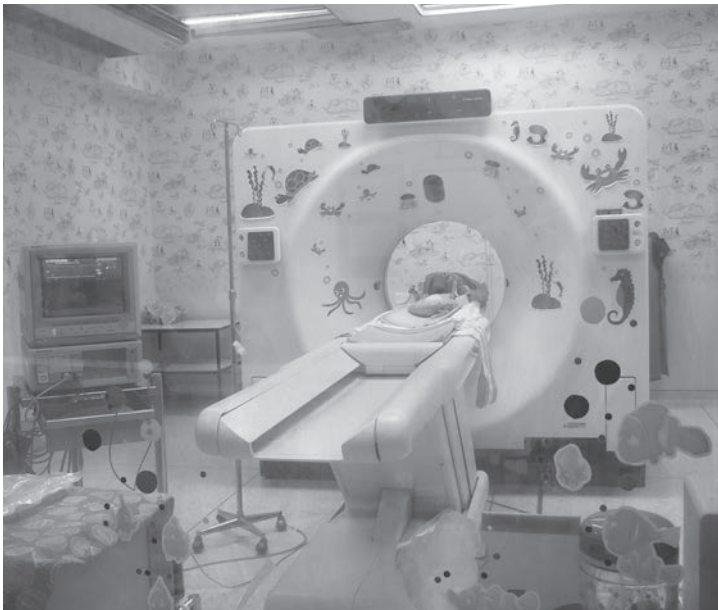
筆者にとって初めての海外出張は、英文でのポスター発表、姉妹提携病院スタッフとの交流、異国王室に謁見するなど盛り沢山で大変に意義深く、心に残るものとなりました。



（図3）ポスター会場にて
筆者と上池院長先生



（図4）QSNICH病院 放射線科にて
訪問団と病院スタッフ



(図5) QSNICH 病院での飾り付け CT装置 (写真左) 待合い室 (写真右)

学会参加記

体験記 CSFRT2010 in 高知に参加して



高知じゃきい。高知だぜよ。

広島大学病院 診療支援部 放射線治療部門 河合 信太郎

2010年、この地で、このタイミングで地方会が行われる事を誰が予想できたでしょうか？そうです、空前の龍馬ブームの真ただ中、高知にてCSFRTが行われました。気分は幕末、明治維新。期待に胸躍らせて参加してまいりました。

プログラムを確認すると演題発表はなんと2日目(日曜日)の一番最後、いわゆる大トリです。この時点で前日の懇親会での泥酔&翌日二日酔い死亡フラグが立ってしまいました。しかし私も中四国9県の中で最も広島からアクセスが難しいと言っても過言ではない高知県に行くだけに引き下がれません、大トリ設定に臆することなく1日目の懇親会に全精力を注ぎ、全力で高知の方々と懇親を深めようと決心して挑みました。懇親会つながりですが高知のお酒と言えば「酔鯨」「土佐鶴」! 広島「酔心」「賀茂鶴」近いものを感じます名前に、ますます親近感がわきあがります。

学会会場の高知市文化プラザ「かるぽーと」に到着すると、その建物の大きさに驚きました「デカイ!!!」: 延床面積約36000m²、地下3階・地上11階建ての高知県下最大規模の文化施設・公共施設(Wiki 情報)との事です、さすが高知! 器が大きいだけにスケールもデカイ! 治療のセッション会場は9階&11階、私も11階で演題発表を行いました、さすが高知! 志が高いために発表会場も

高い!!

学会内容としては、私が参加した放射線治療のセッションに限っての感想ですが、最近だいたい位置精度に関して、IGRT に関連した演題が多く見受けられました。CBCT や FOCAL ユニットを利用して3次元的に腫瘍や石灰化をとらえ、治療期間中の形状変化を考慮した ART の可能性、観測者間の差の是正法、マージン設定に関する報告が続き、若い世代のレベルの高い演題に感動しました。また、線量評価関係でも変位補正係数 Pdis の実測、半導体検出器による小照射野測定の見直し、Physical wedge による照射野内表面線量の低下と照射野外表面線量の増加など、基礎的な内容から、IMRT 検証に関連した Couch モデリング法や MLC 位置精度関係の話など、幅広い分野から多くの演題発表を聞き、お腹いっぱいでした。

新鮮な海の幸とおいしいお酒、頭を働かせた後の栄養補給には抜群の高知 CSFRT 2010 となりました。

CSFRT 2010 発表演題名：
セットアップエラーにおけるオンライン、
オフライン照合に関する検討

中四国放射線医療技術フォーラムに参加して

おると会浜脇整形外科病院 鶏冠井佳奈

2010年10月30・31日（土・日）の2日間にわたり、高知市文化プラザかるぽーとにて開催された『中四国放射線医療技術フォーラム2010』に参加してきました。

今回の学会のメインテーマは『新時代へ向けて』ということで、およそ170の演題が発表されました。内容的には近年注目されている『3.0 TMRI』についての講演をはじめ、MRI や CT の撮影技術はもちろんながら、最近文藝春秋でも取り上げられた『医療被曝』の問題についてなど、幅広く充実したものになっていたように思います。企業のブースでは最新のワークステーション等が展示されており、使用体験もできました。

今回、私は当院でルーチンとしている坐位または仰臥位による膝側面撮影法の解剖学的な観点からの再考察を演題として発表してきました。発表の際は緊張のあまり頭で思い描いたようには話せず、色々と課題が残る発表となりましたが、今まで聴衆側としてしか学会に参加してこなかった私にとって、貴重な経験になったと思います。



RSNAに参加して

呉共済病院 森本 章

はじめに

2010年11月28日から12月3日までシカゴのMcCormick Place で開催された第96回北米放射線学会(The 96th Scientific Assembly and Annual Meeting of the Radiological Society of North America ; RSNA 2010)に参加・発表しましたので報告します。

参加して

「RSNA へ連れてって」。私の参加は2010年初頭、ある研究会で仲間への一言から始まりました。それまで、医療向け雑誌やネットを通じ放射線医学で世界最大のイベントであるRSNAへのあこがれは強く、いつか機会があれば…と長年抱いていました。今回、中四国・九州地域では第1号機となるCT装置が当院に導入され、心臓検査におけるスキャン・モードについて動態ファントムを使用して基礎的に検証を行い、英語での抄録にまとめ、演題登録のやり方などを教わりながら完成させた演題「Influence of Dose and Heart Rate on Image Quality for Three Dual Source CT Cardiac Scan Modes: Phantom Study」がAcceptとなり、渡米となりました。

10時間以上のフライトにも関わらず、初参加という興奮から機内ではほとんど就寝することができない状態で到着、すぐに会場へと向かい長時間寝てないままで過ごした反動から大会2日目はひどい時差ぼけに悩まされました。それでも願わなかった学会の第一印象は厳寒の季節感は微塵もなく活気と熱気にあふれ、すべてにおいて想像をはるかに上回るスケールでした。参加人数58,044人、演題数4,300題、横浜ITEMの3倍ものフロア面積からなる678社の機器展示、232にもおよぶ教育講演とまさに驚嘆に値するもので会場内を行ったり来たり、夜も毎日さまざまなパーティーが催され日本人をはじめ多くの方々と交流を図ること

ができ、とても有意義な経験となりました。

また、私の発表は poster scientific presentation・physics という部門で、指定された日時に大型モニター前で質問者にディスカッションを行うという形式でした。English が未熟であっても何とか内容を伝え、質問に対しては言葉中に含まれる単語を必死に理解し、分からない場合はノートを出して筆談で議論するなどの工夫を凝らして、一番不安であった難局を案外にも Enjoy することができました。さらに、RSNA での日本人の評価は「遠慮がちで大人しい」とのようで、せっかくなので質問にも challenge してみようと、同装置を扱うドイツ人・ユーザーに対し単語の羅列ではありましたが試みました。緊張した面持ちの私に笑顔で答えてくれ、最後に「…、私も日本で同じ装置を使用している」と言ったところとても親近感をもっていただき握手を交わしたことが忘れられません。



あこがれが現実となり、参加前は“一週間も…”と思っていた滞在期間が“一週間しか…”と言えるほど、あっという間の出来事になり、もう一度参加したいとシカゴ市内を上空から眺めつつ帰路につきました。

さいごに

RSNA 2010 への参加にあたり快く送り出してくださいました呉共済病院 放射線部の皆様に深く感謝を申し上げます。そして、研究や発表、滞在中でのサポートと多大なるご協力をいただいた土谷総合病院の舩田隆則さま、広島大学病院の藤岡知加子さまに再度お礼を述べます「Thank you so much.」。



RSNAに参加して

土谷総合病院 奥 貴行

吾輩はおっさんである、名前は Takayuki Oku。なにゆえ国際学会に挑戦したのか皆目見当がつかぬ。見た事もない英単語にヒーヒー言っていた事だけは記憶している。

はい、そんなわけで第96回北米放射線学会 (Radiological Society of North America : RSNA) が2010年11月28日から12月3日まで開催され、参加することが出来ましたので報告いたします。

RSNA はアメリカ第3の都市・シカゴで開催される、放射線医学学会の中でも世界最大級の学会であります。学会参加者数58044人 (内100以上の国より9470人)。機器展示場 (452000平方フィート) に参加社数 (678社)、演題数 (1769題の口述発表・2594題のポスター発表) に教育セッション数 (232)、どれをとっても驚くスケールでありました。実際に学会に参加すると、数字以上に感じるものがあります。

今回の学会旅行は、「格安・充実・チャレンジ学会」をテーマに行ってまいりました。

11月27日 (土) 9時に自宅を出発し、19時成田発の格安アメリカン航空で渡米いたしました。体はでかいが気が小さい私は、機内食はおいしくいただきましたが、フライト時間12時間を寝て過ごす事ができるはずもなく、映画等の鑑賞を期待していました。しかし、日本語・字幕で見られるものは非常に少なく苦痛な時を過ごしました (乗り物酔いするため、読み書きもできませんでした)。航空会社は日本の物がおすすめです。入国審査では、ESTA の関係で昨年の要領と違い苦労しましたが (言葉が分からなかっただけ!?)、現地時間27日16時無事入国しました。空港からシカゴ市街地のホテルまでは地下鉄を利用しました。アメリカ・シカゴといえばマフィアを連想され、治安を心配されるかもしれませんが、変な時間・変な



場所であれば全然大丈夫で、他の交通機関より格安で移動できます。ホテルは格安モートルをチョイスし、不安を持ちつつむかいましたが場所も部屋もベリィ・グッドでした。その後、藤田保健衛生大学・辻岡先生のお誘いで名物シカゴピッツァを食べに行ったのですが、しょっぱなからビールグラスを倒してしまいご迷惑を…。シカゴでの1週間を暗示しているかのようなテンヤワンヤな1日でした。

翌日は、事前に郵送されてくるはずが2年連続で届かなかった舛田隆則氏のネームカードや抄録引換券等と、私の封書に封入されていなかった個人バーコードを交渉のすえ無事ゲットし、学会が始まりました。学会会場は2009年と大きく変わっていなかったため迷うことなく移動できましたが、とにかく広く大きいため2日目には足に水膨れが数箇所でき、4日目には膝を曲げると激痛が襲う様になり帰国後も大変でした。靴と体重管理は大事です。

私の発表は1日の scientific poster で「40mm Volume Computed Tomography using ECG mA Modulation in the high heart rate pediatric cardiac CT examination

cardiac CT examination」という演題名での発表でした。scientific poster は、事前に提出したプレゼンデータを指定された時間に指定されたモニターに表示し、その前で待機し個別に質問等を受けるといふものです。昨年と違ったところは、1時間待機するところが30分に短縮されたことと、座長が就くセッションが多くできたことです。座長によっては一人一人プレゼンを要求するセッションもありました。私の発表は、一つ前のセッションが一人一人プレゼンをして時間をオーバーしていたので待機時間が短くなり、座長もいないので気楽に待っていました。ところがどっこい、私達のセッションにプレゼンを要求するおばちゃん達が現れました。内心焦りながらもプレゼンを始めようとする、モニターには違うプレゼンが写しだされているじゃありませんか、見た目にも焦りながら自分のプレゼンを呼び出していると、おばちゃんが隣の人に、先にプレゼンするよう要求したので平常心を取り戻しつつ待ちました。この時点で予定のセッション時間が過ぎていました。隣の方もプレゼン中に他のプレゼンに切り替わり時間がかかりました。結局何もしないまま（プレゼンも）、後ろ髪を引かれる思いで会場を後にしました（当時は坊主でしたが）。次回があ



右が著者、左は舛田先輩

ればりベンジしたいと心に誓ったのでした。

帰国日は雪になりました。朝5時に空港にいき、キャンセル便が出ている中「飛ぶのかな？帰れなかったら月曜日欠勤になっちゃう。ホテルも取らないといけないし、明日の飛行機チケットも取らないと…」と、不安でしたがなんとか飛び、ロサンゼルス経由で日本に帰りました。広島行きの最終便飛行機には、走って、走って出発直前に飛び乗り、21時に広島空港に着き、23時に帰宅しました。しかし、手に荷物はありませんでした。タクシーのトランクに入れられたまま夜の町に消えていったのです。怒りよりも「土産がないまま帰ったら、しばかれる」と、身震いしながらタクシーのテールランプを見送りました。

この学会を通じて、先に述べたテーマは概ね達成でき、それ以上に得たものがたくさんありました。その中でも一番は多くの人と出会い、知り合うことが出来たことだと思います。演題応募から発表までは、丸1年かかり大変なこともありますが、すごく良い経験になります。最後まで読んで頂いた方で、誰か一人でも海外発表をしてみようと思っただけいたら幸いです。言っただければ、何らかのお手伝い出来ると思います。

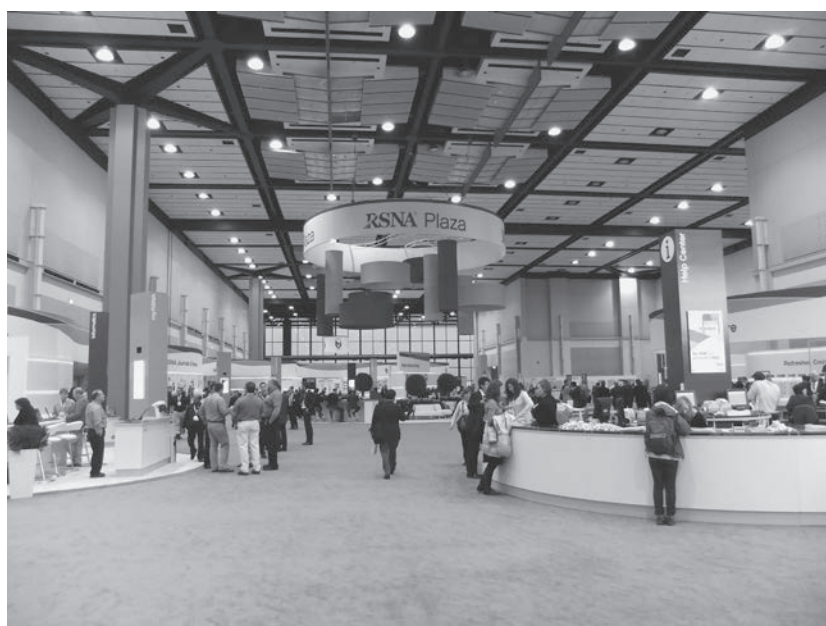
最後に、手取り足取りご指導いただきました外田 隆則氏、土谷総合病院・放射線技師の皆様、

シカゴでバックアップしてくださった皆様、そしてマイ ファミリーに深く 深く感謝申し上げます。

月日は流れ2011年4月14日。

いま思い返せば、次第に悔しくなってくる。楽しかったのか、やり残した後悔なのかはなはだ見当がつかない。またチャレンジしたいのか、もう懲り懲りなのか、釈然としない。やったからといって給料が増えるわけでもなく、ただ自己満足である。否、満足感も得られない。日月を切り落とし、常識を粉砕して不可思議の太平に入る。吾輩は行った。RSNA に行つてこの経験を得る。経験は行かなければ得られぬ。感謝感謝。

ありがたいありがたい。



公益社団法人広島県放射線技師会 平成22年23年役員紹介

会 長



北川 明宏 (きたがわ あきひろ) 日本鋼管福山病院
 生年月日 昭和28年4月2日 出身 島根県松江市
 岡山大学診療放射線技師学校をS51年卒業
 4月より現職場 日本鋼管福山病院入職
 趣味は犬と酒。2年間はゴールデンリトリバーのブリーダーをしていました。
 2期目になります。よろしくお祈いします。

副 会 長



今田 直幸 (いまだ なおゆき) (医) あかね会土谷総合病院
 公益法人化し2年目を向かえます。社会に貢献できる法人であるとともに会員にとっても魅力ある技師会を目指して取り組んでいこうと思ひます。会員の皆様からのご意見ご要望をお待ちしております。

副 会 長



木口 雅夫 (きぐち まさお) 広島大学病院
 副会長を勤めます木口雅夫です。会長の補佐としての業務に加えて、JART 教育委員として広域を対象とした生涯教育、研修活動、本県の研修活動に携わっています。本年度は、11月14日(日)県立広島病院で診療放射線技師基礎講習 MRI 検査、MRI 検査技能検定が開催されます。セミナー、研修会ともども多数の会員の皆さんの参加と活発なご意見をお待ちしております。北川体制第2期も全力投球で本会に貢献したいと思ひます！よろしくお祈いいたします。

監 事



石田 順一 (いしだ じゅんいち) 広島通信病院
 技師会の運営に関わって何年経過したのだろうか？最近は行事に参加するのがやっとという状態ですが、監事という仕事をマイペースで行って行きたいと思ひます。

監 事



渡辺 和美 (わたなべ かずみ) (医) あかね会阿品土谷病院
 本年3月末に41年間務めた人道博愛の赤十字、広島赤十字・原爆病院を定年退職しました。今は住居に近い医療法人あかね会阿品土谷病院で思いやりのある人生へとリセット&リスタートをかけています。今までに培った豊富な経験を地域に還元しようと1人職場で頑張っています。会員の皆様と共に躍進する広島県放射線技師会の活動に積極的に参画し組織で技師の向上を図って行きましよう。

常 務 理 事



面谷 耕司 (めんたに こうじ) 広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター
 技師会の会計を担当しております、面谷と申します。石田税理士さん、網本行政書士さん、本会事務所の本藤(ほんどう)さんと共に、大切な財産を守っていく所存でございます。会員の皆様のご協力、何卒よろしくお祈い申し上げます。なお、お忘れの会費がございましたら、どうぞお早めに。

常務理事



山口 裕之 (やまぐち ひろし) J A広島総合病院

学術、教育の担当をさせて頂いております。主に年に4～5回開催される広島県放射線技師会研修会の企画やマネジメントを行っています。少しでも皆様方のお役に立てるような研修会にしたいと考えていますので、ご意見やご要望があればお聞かせ下さい。

広島県放射線技師会は公益法人となり、今後は会員のための研修会だけではなく市民公開講座等の公益事業を積極的に行うことが必要となりました。公益事業推進のためには、会員の皆様のご協力が必要となりますので何卒よろしく御願い致します。新たなる広島県放射線技師会をみんなで創りあげましょう！

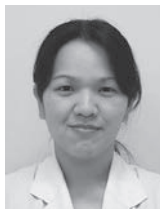
常務理事



西丸 英治 (にしまる えいじ) 広島大学病院

広島県放射線技師会の会員の皆様こんにちは、理事会推薦理事の西丸英治 (にしまる えいじ) といいます。現在は、広島大学病院に勤務しており、今期で二期目の理事を務めさせて頂いております。広島県放射線技師会は広島県内で医療に従事されている診療放射線技師のための団体であると同時に、会員の皆様によって支えられている団体でもあります。私も微力ではありますが、会員の皆様の力になれるようにまた、広島県放射線技師会をより一層盛り上げていけるよう努力して行きたいと思っております。宜しくお願い致します。

常務理事



新藤 陽子 (しんどう ようこ) 国立病院機構東広島医療センター

研修等の企画、運営を担当しております。これからの技師会は技術向上の研修のみならず、一般市民へ情報発信する場として公開講座やイベントを一層強化して行きたいと思っております。

今年から参加しているピンクリボンキャンペーン in 広島 (カープ、サンフレッチェ、広島交響楽団とのピンクリボン企画) にも力を入れております。どうか皆様のご協力をお願い致します。

常務理事



外川 雅士 (そとがわ まさし) あまのクリニック

ホームページと公益事業 (健康福祉祭・レントゲン週間イベント) を担当している外川です。ホームページもレントゲン週間のイベントも県民の皆様へ最新の情報を多く伝えていきたいと思っております。よろしくお祈り致します。

常務理事



藤井 友広 (ふじい ともひろ) 呉共済病院

今期で、2期目をさせて頂きたく、呉共済病院の藤井友広です。

少しでも会員の皆様方のお役に立てるように、微力ではありますが、努力していきたいと思っております。今後ともご指導を含めよろしくお願い致します。

常務理事



伊藤 博美 (いとう ひろみ) 国立病院機構呉医療センター

呉医療センターの伊藤です。理事になって今期で2期目ですが、まだまだ力不足で、いろいろな方にご迷惑をおかけしています。そんな微力な私ですが、会長や他の役員・新しく理事になられた方々と共に、広島県技師会のために頑張っていきたいと思っております。

常務理事



清堂 峰明 (せいどう みねあき) 広島県立広島病院

県立広島病院に勤務する清堂です。さて、診療放射線技師の歴史は、1951（昭和26）年6月11日「診療エックス線技師法」として公布され、1984（昭和59）年10月1日「診療放射線技師法」に題名改正された。半世紀以上が過ぎ、社会、国民生活、保健医療等々大きく変遷した。これからの診療放射線技師が歩むべき道を見据えて、将来の放射線診療が充実し、安心できる安全なものとなることを願っている。

常務理事



西原 精人 (にしはら きよと) 広島市民病院

今年度から理事をさせていただいています。外見と実年齢とのギャップのためにベテランと勘違いされることがありますが、まだまだ若手でフレッシュ！（なつもり）です。理事として裏方の仕事を経験する中で、例えば一つの研修会を行うにも多くの人の苦労の上に成り立っていることを改めて実感しています。会員のみなさんのお役に立てるよう頑張りたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

地区理事



花本 隆秀 (はなもと たかひで) 広島中央支部／吉島病院

今年度から広島中央支部の理事は梶川病院の中上さんと2人体制になりました。会員の皆様に、より技師会を活用していただけるよう努力していきたいと思えます。

地区理事



中上 康次 (なかうえ こうじ) 広島中央支部／梶川病院

東広島市出身！平成元年に専門学校 東洋公衆衛生学院を卒業しました。卒業以来、ずっと梶川病院に所属していますが、その間に、佐伯中央病院、浜脇病院、たかの橋中央病院など、近隣の病院へ出向を経験、現在もおおうち総合健診所、こぶしの里病院と様々な職場へ出向しながらがんばっております。これからも地域密着型の技師としてがんばりますので、よろしく願いします。

地区理事



山本 茂樹 (やまもと しげき) 北西山県支部／広島市立安佐市民病院

前任者の森川支部理事から引き継いで、北西山県支部を務めさせて頂いている安佐市民病院の山本と申します。右も左もわからないまま理事になりましたがADセミナー、健康福祉祭及びレントゲン週間への参加、60周年記念行事、公益社団法人化等々、様々なイベントが催される毎に色々な方々と接する事が出来、私にとって大きな財産になっております。これからも若い方たちの足を引っ張らないよう、出来る範囲でお手伝いをしますのでよろしく願いします。

地区理事



畑山 秀貴 (はたやま ひでき) 東部支部／中国中央病院

地区理事（東部）を担当しています。

公立学校共済組合 中国中央病院に勤務しています。出来る限りではありますが、皆様のお役に立てるようにお手伝いさせていただきます。宜しく願い致します。

地区理事



竹田 賢治 (たけだ けんじ) 東部支部／大田記念病院

3期目になります。前期は東部支部理事をさせて頂きましたが東部支部の会員数の増加により福山、尾三の2支部に分け、福山支部理事をさせていただきます。広島県放射線技師会も公益法人になり、多くの行事が行われます。微力ではありますが、皆様のお役にたてるよう頑張っております。よろしく願いします。

地区理事



本山 貴志 (もとやま たかし) 西部支部/J A広島総合病院

西部支部には約40名の会員が所属していますが、支部長の努力不足からなかなか研修会等を行うことが出来ず、会員が顔を合わす機会がほとんどありません。

今後、研修会等の機会を設け、会員同士顔の見える支部に出来たらと考えています。ご協力宜しくお願いします。

地区理事



穂山 雄次 (あきやま ゆうじ) 南東安芸支部/広島大学病院

このたび安芸西南地区の地区理事を勤めさせていただくことになりました。放射線技師会として皆様のお力となり地域に貢献できればと思っております。広島大学病院に勤務して16年目、現在はMR検査を主に行っています。3人娘をもつ36才の父親、チデジカすすんでいますがオヤジカには必死に抵抗しています。よろしくお願い致します。

地区理事



戸塚 功二 (とつか こうじ) 東広島竹原支部/井野口病院

ソフトボール大会、レントゲン週間イベント、技師会誌等の担当をさせてもらっています。地区理事でありながら地元の会員の声を聞く機会が少なく反省しております。今後、県技師会はもちろん、東広島竹原地区も盛り上げていくよう頑張りますのでよろしくお願いします。

地区理事



宇山 浩文 (うやま ひろふみ) 北部支部/庄原赤十字病院

1963年1月6日鳥取県米子市生まれ 山羊座 O型

①ドラム：7年前のアクシデントで手数王的フェュジョンドラマーからブルースドラマーへ大変身(本当は早いパッセージが叩けない)。ブルース、バラード系やってる人誘ってください。

②乗り鉄 研究鉄：普通列車乗り継ぎの旅。芸備線の生い立ちなど。

その他

弟の宇山満隆はプロジャズドラマー。

1991年ボストン、パークリー音楽院に留学。1993年オーストラリアの「マンリー・ジャズフェスティバル」に出演。都内を中心に活動。共演およびアルバムサポート：三好功郎、中本マリ、土濃塚隆一郎、堀剛、酒井聡行、進藤陽悟、宮野弘紀、今田あきら、宮崎勝央、渡辺かづき。その他アルバム多数。まずは You Tube で！

地区理事



山本 健之 (やまもと けんじ) 呉支部/呉医師会病院

この度、呉地区理事に就任いたしました呉市医師会病院の山本です。身体を動かすことが趣味で現在テニス、バドミントン、エアロビクス、ソフトボール、ゴルフなど暇さえあれば運動しています。なかでもゴルフが大好きでシングルプレイヤーを目標に頑張っています。某女性理事から「仕事をしないでゴルフばかりしてる」と言われ続けていますが真面目にCTをしていますのでみなさま今後ともよろしくお願い致します。

地区理事



豊田 隆繁 (とよた たかしげ) 東部支部/尾道市民病院

この度、尾道・三原支部の発足にともない、支部理事をさせて頂く事となりました。

これまで、東部支部としてお世話になっておりましたが、今後は福山支部の理事の方々のご指導をいただきながら、尾道・三原支部の理事として貢献できればと思っております。

広島県放射線技師会ならびに、会員の皆様のお役に立てるよう、微力ながら頑張る所存であります。よろしくお願いいたします。

平成22年度支部活動報告

広島中央支部

吉島病院 花本 隆秀

広島中央支部では平成22年度から支部理事として梶川病院の中上さんに加わっていただき、2人体制となりました。中上さんは技師会のイベントのポスター制作などでもその手腕を発揮されています。

研修会は予定を含めて2回です。会員のみなさまのご協力に感謝しております。

第1回研修会

日 時：平成22年11月25日(木) 18:50
場 所：吉島病院 健康管理棟 2階講義室
参加者：22名
内 容：「医療画像ネットワークの基礎 その2」
株式会社 ハイエレコン
「医療画像ネットワークの基礎 その1」
梶川病院 中上 康次

第2回研修会

日 時：平成23年4月28日(木) 19:00
場 所：中電病院
内 容：「MRI シーメンス アバント1.5Tの使用経験」
中電病院 中山 真治

東広島支部

土肥整形外科病院 荒木 真悟

東広島支部の支部活動は次の通り行われました。

第1回研修会

日 時：11月26日(金) 18:45～
場 所：井野口病院 3階 会議室
参加人数：26人
研修会内容：

1. 「Optima MR360/Brivo MR355について」
GE ヘルスケアジャパン 松尾 祥司 先生
2. 「Brivo MR355 1.5T の使用経験」
井野口病院 戸塚 功二
3. 「施設見学 井野口病院 MRI室 Brivo MR355 1.5T」

この研修会では、2ヵ月に一回東広島地区で行われる広島MR撮像技術研修会と初めての合同開催となりました。ちなみに広島MR撮像技術研修会とは、放射線技師や臨床検査技師といったMR検査に携わる方々を対象としたMR研修会です。興味のある方は遠慮なく参加して頂きたいと思います。

講演では、最新MR装置についての発表となり、誰でも簡単に撮影が行えてしまう便利な機能をはじめ数多くの新機能を話して頂きました。参加者の何人かは、うらやましそうに話を聞いていたような気がします。講演して下さった先生方、協力して下さった井野口病院技師の方々どうもありがとうございました。



新年宴会

日 時：平成23年1月29日(土) 18:30～
場 所：小樽食堂
参加人数：32人

多忙な時期にも関わらず多数参加して頂きまして、ありがとうございました。今回参加できなかった人達を含めて、本年度もご協力の程よろしくお願い致します。

呉支部

呉市医師会病院 山本 健之

呉地区では年2回研究会を開催し芸南放射線技術勉強会を年4回開催する予定としております。メーカーによる最新の話題提供から会員発表などあらゆる分野での勉強会になっておりますので今後ともよろしくお願いたします。

第110回 呉地区放射線技術研究会

日時：平成22年7月31日(土) 14:00~17:00

場所：労働者健康福祉機構 中国労災病院

8階多目的ホール

参加者：35名

「話題提供」

座長 中国労災病院 崎谷 英樹

・富士フィルムFPDにおける最新技術

富士フィルムメディカル株式会社

大島 裕二

・最近の高磁場MRIについて

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

松尾 祥司

・MR (Signa HDxt 1.5T) 使用経験

中国労災病院 滝口 裕章

「会員発表」

座長 中国労災病院 石井 聖一

・大腿骨上顆軸撮影法 (Epicondylar View)

中国労災病 石本 智洋

・頭部MR画像における多発性硬化症のコンピュータ支援診断システムの開発

広島国際大学大学院 学生 日浦 友樹

「教育講演」

座長 中国労災病院 山田 康昭

胸部領域におけるデジタル画像精度管理

(厚生労働省委託機関) 全国労働衛生団体連合会

審査委員 小林 満

懇親会

場所：まつとら

第111回 呉地区放射線技術研究会

日時：平成23年3月12日(土) 14:00~17:00

場所：国立病院機構 呉医療センター4F

地域医療研修センター

司会 呉医療センター 田坂 聡

「一般演題」

座長 呉医療センター 稲葉 護

(1)「放射線科における災害時の対応について」

呉医療センター 山根 明哲

(2)「タイ国立ラジャピチ病院 60周年記念学会参加報告」

呉医療センター 二見 智康

「話題提供」

「新コードレスカセット型DR: AeroDRの紹介」

コニカミノルタヘルスケア株式会社 中四国支店

販売グループリーダー 久保 雄一

「特別講演」

座長 呉医療センター 水嶋 徳仁

1.「地域医療連携システムの現状 ~当院の事例をふまえて~」

国家公務員共済組合連合会 呉共済病院

情報管理課 課長 藤井 友広

2.「院内・院外における画像データ管理の方について」

GEヘルスケア・ジャパン (株)

Healthcare IT 本部 Solution Sales 部 平野 祐吉

懇親会

場所：食洞空間 和楽 (やわらく)

北部支部

庄原赤十字病院 宇山 浩文

2010年度の北部支部活動状況をお知らせいたします。

研修会

日時：2010年4月17日(土) 15:00~18:00

場所：市立三次中央病院 健診センター2階講堂

プログラム

座長 JA 広島厚生連吉田総合病院
診療支援部 放射線科
診療放射線技師 瀬藤 章義

【講演 1】

「2010診療報酬改定のポイント」
第一三共株株式会社 服部 哲茂

【講演 2】

「緩和ケアを学ぼう」
三次中央病院 放射線科医 榎本 和樹

【会員発表】

「64列 MDCT/FPD X-RayTV /FPD DSA の 機
器更新について」
庄原赤十字病院医療技術部 診療放射線技師
安井 哲士・西秀 治・黒田 壘

研修会

日 時：2010年7月10日(土) 15:00~17:00
会 場：JA 厚生連吉田総合病院 南館4階会議室

プログラム

【会員発表】

「ヨード造影剤の基礎の基礎」
庄原赤十字病院医療技術部放射線技術課
宇山 浩文

【講演 1】

「オムニパークと IC タグについて」
第一三共株株式会社

【講演 2】

「320列から4列まで MSCT の最前線」
(株)東芝メディカルシステムズ
営業推進部 CT 担当

研修会

日 時：2010年11月27日(土) 15:00~17:00
場 所：市立三次中央病院 健診センター2階講堂

プログラム

座長 JA 広島厚生連吉田総合病院
診療支援部 放射線科 瀬藤 章義

【講演 1】

「PACS と周辺機器について」
コニカミノルタヘルスケア株式会社 中四国支店
販売グループ 久保 雄一

【講演 2】

「高濃度低粘性バリウムの特性について」
伏見製薬(株)営業企画部 竹内 修平

皆様、1年間ご苦労様でした。
昨年度は、猛暑の影響で楽しみにしていたソフトボール大会が中止となり研修会のみで開催となりました。
今年度のソフトボールは田植え時期と重なっての開催となります。田植え後の勢いで2連覇、その後の祝勝会は泥落としを兼ねて出来れば最高ですが。と勝手な妄想に耽っています。
今年も、よろしくお願ひ申し上げます。

東部支部

脳神経センター大田記念病院 藤原 賢治

東部地区（福山支部、尾三支部）では次のとおり平成22年度研修会、研究会、行事を行いましたので報告いたします。

東部地区研修会

日 時：平成22年7月11日(日) 13:00~
会 場：興生総合病院
参加者：66名

1. 「デジタルマンモグラフィーにおける施設認定取得のポイントと最新動向について」
富士フィルムメディカル株式会社 大島 裕二 先生
2. 「ラジオ波焼灼療法の現況」
～肺、腎、骨腫瘍への応用～
岡山大学放射線科 助教 郷原 英夫 先生
3. 「整形外科の画像診断」
興生総合病院 整形外科医長 丸石 晃 先生

第4回広島県放射線技師会研修会

日 時：平成23年2月11日(金・祝) 13:00～

場 所：福山市市民参画センター

参加者：65名

「放射線科における感染予防について」

中国中央病院 副看護師長

感染管理認定看護師 高橋 みどり 先生

「当院の医療機器管理」

福山市民病院 臨床工学科

チームリーダー 井上 堅司 先生

「脳卒中後の急性期リハビリ」

脳神経センター大田記念病院

理学療法士 池田 強 先生

「摂食・嚥下障害と放射線技師」

脳神経センター大田記念病院

言語療法士 時田 春樹 先生

「医療被曝低減施設認定取得その後」

三次中央病院 放射線科 宮野 音努 先生

平成22年度東部地区懇親会

日 時：平成23年2月11日(金・祝)

会 場：福山ニューキャッスルホテル

参加者：60名（メーカー含む）

今年度の県技師会の研修会は他職種の講演を多く取り入れてみました。

他職種の方々のお話には興味があり有意義であったのではと思います。

また、東部地区ではMRI・CT・消化管の勉強会を行っております。



総会・理事会議事録

総会議事録

日 時：平成22年 5月30日（日）

15：10～16：00

場 所：広島市民病院 10F大講堂

1. 開会の辞 （木口副会長）

2. 会長挨拶

公益社団法人移行に伴い、項目等複雑になり書類作成まで時間がかかってしまったので決算書類については本日別紙にてお配りしました。またその内容については本日参加できていない会員にはホームページ上で閲覧、印刷が行えるようにしております。（北川会長）この後、本年度の物故者に対して黙祷を行った。

3. 議長選出

福山市民病院 瀬戸氏 梶川病院 中上氏が選出された。

全会員694名中参加人数57名、委任状354名の計411名により過半数に達しているので総会成立を宣言した。（中上議長）定款第18条（定足数）

4. 議事

1) 事業報告

- ・新公益社団法人の移行許可の申請を行い、皆様のご協力で平成22年2月末に無事認定をいただいた。行政書士の先生には大変お世話になりました。

全国技師会の中で一番に行うことがで

きた。

- ・創立60周年記念事業として広島アステールプラザにおいて市民公開講座として記念講演会を行った。市民の参加者多数あり成功した。
- ・イオンモールソレイユにてレントゲン週間としてイベントを行った。
- ・県健康福祉祭りへの参加
- ・胃透視撮影研修会への後援
- ・公益事業の中の研修会事業を予定通り4回開催できた。

2つの大きな事業を役員および会員の力で無事成し遂げることができました。

（北川会長）

2) 会務報告

総会資料に沿って会務報告行われた。

（今田副会長）

- ・会員増減報告 正会員の増人数合計27と記載あるが28の間違いで変更します。
- ・日時順に行われた事業項目の報告

3) 決算報告

当日配布された8ページの資料に沿って報告が行われた。（面谷理事）会長より、過去5年分の法人税支払い、創立60周年記念事業、会員数減少などで収入である実状を言われた。

4) 会計監査報告

適正に会計が執行されたことを宣言します。

（渡辺理事）

5) 議長より21年度議事について承認の確認が行われ、挙手多数にて承認された。

6) 平成22年度 事業計画 (案)

- ・本年度より公益社団法人となって年4回の研修会を実施予定。公益事業の一環ということで非会員の参加も参加費を頂いて認めていきたい。
- ・胃透視技術研修会の後援も継続していく。
- ・社会貢献活も例年通り広島市での健康福祉祭り、イオンモールソレイユでのレントゲン週間イベントを開催。多数のスタッフの参加宜しくをお願いします。
- ・10月30日、31日高知で開催される中四国放射線医療技術フォーラム、7月2～4日に東京で行われる全国放射線技師会総合学術大会に多数の会員の参加をお願いします。(北川会長)

7) 平成22年度 予算案

当日配布された一般会計収支予算書(案)、特別会計収支予算書(案)について説明。

公益事業別の細かい振り分けは今後行っていく。(面谷理事)

8) 議長より22年度予算案について承認の確認が行われ、挙手多数にて承認された。

9) その他

- ・ひろしまピンクリボン実行委員会に本年度より技師会も参加していきます。ボランティア等協力をお願いします。(新藤理事)
- ・公益法人となり総会は参加者、委任状の数が過半数で成立となる。ご協力をお願いします。
- ・県内の支部が東部より尾道三原市部が分離するため一支部増加します。(北川会長)

5. 議長解任

6. 表彰

石井賞	福山市民病院	森光 重則氏
楨殿賞	土谷総合病院	麻生 弘哉氏
奨励賞	広島大学病院	井澤 伸尚氏
		河合信太郎氏
	広島県立病院	守本 京平氏
	土谷総合病院	稲田 智氏
	日本鋼管福山病院	石川 祐三氏

7. 役員選挙

定款第23条、役員選出規定により選挙が行なわれた。

川上幸男選挙管理委員長より

候補者は別紙の通り 支部理事11名、理事会推薦理事12名、監事2名立候補
選挙規定12条により立候補者定数内のため
無投票で当選とする。という宣言があり、
満場一致で承認された。

役職については第1回の理事会で決定される。

8. 閉会の挨拶 (木口副会長)

以上をもって平成21年度第32回定期総会を終了します。

平成22年度 第1回理事会議事録

日 時：平成22年5月30日(日)

16:30~17:00

場 所：広島市民病院 10F 講堂

議長：北川

議事録：西原

議題

1. 平成22年・23年度の会長・副会長の選任

議長より会長立候補ありませんかとの問いに、なし、副会長立候補ありませんかの問いに、なし、次に推薦をされる方はいませんかの問いに面谷理事・新藤理事より会長・副会長とも留任していただきたいとの意見がでて協議の結果出席理事全員の賛成で会長 北川、副会長 今田、木口と決定した。

代表理事(会長) 北川 明宏
副会長 今田 直幸
木口 雅夫

2. その他

新藤理事より県から補助金を20万円出すから乳癌検診に従事している技師の講習会を技師会と県と共催でお願いしたい。清堂理事が県との窓口になり新藤理事ともに研修会担当理事と共に進めていく。

平成22年度 第2回理事会議事録

日時：平成22年6月20日（日）

10：00～12：00

場所：広島大学病院 外来棟3階中会議室

出席者：北川、今田、木口、面谷、山口、新藤、清堂、外川、西丸、西原、藤井、伊藤、本山、山本、竹田、畑山、宇山、戸塚、中上、穂山、山本、豊田、花本、渡辺（監事）

議事録：花本

議題

1. 広島県放射線技師会平成21年度 第32回総会報告

平成22年5月30日に広島市民病院にて開催された。無事終了し、役員の留任が承認された。会計報告が事前に配布できなかったことが残念であった。

2. 日本放射線技師会第68回定期総会報告

6月5日、東京にて開催され、北川会長・今田、木口副会長・面谷理事の4人が出席した。

監事から21年度事業について、下半期の事業がおこなわれていないとの報告があった。広島県は予算案、事業報告について反対した。新日本放射線技師会会長に東京都の中澤氏が選任された。7月3日に会長会議を開催予定。中澤会長に期待している。日放技はこれで変わるであろう。7月の学術大会を成功させたい。皆様の参加をお願いしたい。

3. 中四国会長会議報告 中四国放射線医療 技術フォーラムについて

5月30日に中四国会長会議がおこなわれた。中四国放射線医療技術フォーラムと会員減少の問題が主な議題であった。会員を増加させたい。会員数減少のため、今後、県のみで会員登録も認められることとなる。

質問：5年間入会しないと入会金が5年分必要といわれており、会員が増加しない一因となっているのではないかと

回答：この件は平成25年からの実施とされているが、諸般の状況が変化しており、今後また検討されるであろう。

4. 平成22年度役員役割分担

- ・昨年と同様をお願いしたい。新理事はサポート役をお願いしたい。公益法人移行で会計業務が煩雑になった。西原新理事に面谷さんのバックアップをお願いしたい。
- ・健康福祉祭りは9月12日に鯉城会館で開催予定。うちわを配布する。
- ・レントゲン週間は11月3日にソレイユで開催予定。詳細が決定すればホームページに掲載する。
マンモグラフィに関しては、1方向だけの撮影では安心できないこと、医師の参加の必要なこと、無料での検診は難しいことなどで、見送りとする。
- ・各地区で公益的な企画があれば提案してください。

5. 研修会年間計画

- ・研修会は今年度も5回開催予定。別紙参照。第3回研修会は広島市で開催。
(木口副会長・山口理事)
- ・乳腺講習会を広島県の委託を受け、医師会と共催で10～11月に行う予定。今年度の乳房撮影の認定講習会が予定されていないため、撮影技術の向上を目指した内容としたい。(新藤理事)
- ・今年度から研修会には会員外の参加も可能となる。ただし、参加費は会員無

料、会員外1000円とする。

- ・研修会のビデオ撮影とそのDVD貸し出し事業は、昨年度の貸出件数が1件であったことと、コストと労力を勘案し、休止とする。ただし、著名人の記念講演などは記録のためビデオ撮影をおこなう。(外川理事)
- ・研修会の記録(写真撮影)は、その地区理事をお願いする。
- ・「21世紀の県民の健康と暮らしを考える会」の企画会議報告(今田副会長)
広島県の主催で平成23年1月22日アステールプラザにて開催予定。20団体が協賛している。メインテーマは「安心して暮らすために」。副題は講演者によって決定される。放射線技師会としては、がん検診の受診率を上げる内容を提案した。

6. 社会事業(公益)計画(新藤理事)

6月19日、ピンクリボン活動をマツダスタジアムにておこなった。参加者6名。東芝の協力により乳房撮影装置をスタジアムのウッドデッキ席に設置することができ、たいへん好評であった。

7. ソフトボール大会(戸塚理事)

8月29日(日)例年通り東広島中核工業団地にておこなう予定。参加費は1チーム5000円。昨年の参加チームには案内の配布をおこない、新たに参加希望があれば、戸塚理事に連絡をお願いします。

8. 中四国放射線医療技術フォーラムについて

10月30、31日に高知県で開催される。多くの参加をお願いしたい。今回から予算削減のため、後抄録は出さない予定。ダウンロードにて対応し、プログラムを充実させる。

9. 中国サミット（役員交流会）

- ・ 9月4日に鳥取で開催予定。5名参加してください。
- ・ 今年度で一回りしたため、開催の頻度など検討されるであろう。

10. その他

- ・ 新公益法人に変更した旨の案内状を他団体へ配布する。
- ・ 60周年の記念誌の発行はおこなわない。

平成22年度 第3回理事会議事録

日 時：平成22年9月18日

14：00～16：00

場 所：広島大学病院 三階中会議室

議事録：穂山雄次

参加理事：別紙

議題

1. 健康福祉祭

県民文化センターで朝9：00から16：00まで開催された。

内容はCT、MR、マンモ、放射線に関するパネル、うちわを配布ことや簡単なクイズを行った。

1日目は85名、2日目は60名（クイズをした人で集計）全体では約145名の参加者があった。

1日目のスタッフは外川さん、石田さん、戸塚さん、荒木さん、伊藤さんの5名、2日目は今田さん、山本さん、川上さんの4名。準備は外川さん一人で行った。来年以降も参加する予定だが、うちわを配布するだけでは診療放射線技師のPRにならないので他の方法を考えなければならないと思われる。こちらから「クイズをしてみませんか？」とアプローチしてこの人数で、中にはうちわだけもらう人も何人かいた。無料検診の様なものは他のブースでも行っていた。（骨塩定量測定、血液サラサラ検査、歯科検診等）一般の方はご自分のレントゲン写真をゆっくりみることはないので、写真をみてここはこういうふうに写るとか、シャウカステンを持って行って写真を並べて説明するのもおもしろいかもしれない。来年にその話がでたときにまた考える。次のレントゲン週間のイベントにも繋がる。

レントゲン週間（11月3日祝）がイオンモールソレイユで開催される。（外川さん）

ソレイユの担当の方と連絡したところ予定通り会場を借りる事が出来ることを確認した。担当者が変わったので打ち合わせをしに行く。この度「がん検診に行こうよ」のテーマに変更したが内容はまだ検討中。スタッフの募集をホームページに記載する。30名くらいは参加してほしい。昨年の内容は無料骨密度測定、CT、MR、マンモなど放射線に関するパネル、マンモのファントム等だった。

ムービーをスクリーンにムービー画像を映写して3D画像のデモンストレーション、風船の配布、放射線に関する相談があった。アイデアを募集している。スペース的にもいっぱいなので既存の物の代わりに新しいものを準備することになる。昨年、横町さんにスライドショーを作ってもらってプレゼンをしてもらう予定だったが、今年はどうしたらいいか。プロジェクターは他の業者に頼んでみて、スライドの件は横町さんに相談する。準備などスタッフがいるため理事の方々にできるだけ参加するようにお願いする。前日の準備は、夜から店が閉まって10時に搬入し1時間か2時間程度で終わる。器材、イベント関係、骨密度はエルクさんに、風船とヘリウムの注文はこれから行う。必要なものがあれば準備する。のぼりを追加が必要か？（去年はピンク？）

報告事項

人数23名（欠5名）

2. 中四国会長会議

10月29日～中四国学術フォーラムが高知で開催されます。160の演題が集まりました。日放技として公益事業といちづけて協議会から援助がでます。400円から200円の負担になり資金的にも楽な開催ができると思われまます。ぜひ参加よろしく願いいたします。広島県放射線技師会として表彰されることになりました。公益法人化の話をしませす。（会長）

3. ソフトボール大会

8月29日に予定していましたソフトボール大会は、異例な暑さということで熱中症のニュースもあり事故などのリスクを考えて中止にさせてもらいました。1週間前の決定のため準備していた方にはご迷惑をおかけしましたが、特に混乱はありませんでした。来年以降も続けていく予定ですが、日程に関してはまた皆さんと相談することになります。年明けから場所取りをしますが9月、10月は学会等多いため厳しいと思われ、5月、6月の日曜日で前倒しするかを考えています。12月の理事会で伺いますので考えておいてください。

4. 中四国サミット報告

9月4日に皆生にて中四国サミットが開催されました（会長、山口さん、新藤さん）

新人会員の状況、活動状況、60周年の公益のことを報告しました。各県よく似ていて公益法人へとむかっています。会員状況は岡山、広島で少し減ってきています。370名。法人維持のためにお金がかかりますので財政の建て直しがいらいます。今回で中国5県をまわり一度様子をみることにします。2～3年後にまた開催する予定としてひとまず終わりました。

5. 第2回研修会

23日の午後より県病院にて開催します。ぜひご参加ください。

6. がん検診推進会議

67の団体が参加しました。それぞれの団

体ががん検診のロゴを揃えてお互いに広報しあっていくというイベントをしていきます。県として秋からやろうということです。(10月3日) 技師会も県と一緒にやっているということを知ってもらう機会です。がんのアドバイスというイベントがあるので見に行くといいかもしれません。

ピンクリボンの宣伝としてサンフレッチェのイベントがあります。

総会、代議員選挙 両副会長で参加する予定です。都合により今田さんは欠席しなければなりません。

7. 11月13日 生涯学習セミナーMR

日放技のカリキュラムと内容が変わっていた。時間だけ変更することを了承してもらっています。講師の方には週明けには依頼します。11月14日県病院は停電になります。最大で150名まで募集します。会場に人数が入りきらないかもしれませんので、テーブルの数が足りないため、前日からテーブルを借りて搬入しましょうか。120名ぐらいは入れるのではないかと思います。23日の研修会の際に県病院の会場の様子を見ておきましょう。セミナーでは試験がありますが、講師が問題を作るわけですが試験問題も全国での統一がされていない。内容も以前の情報もなにもなくてひじょうにあいまいです。

8. マンモの講習会 10月19日(日)

13時から撮影技術、読影など医師も含めた講習会です。

またご案内を送ります。

9. 2011年1月15日 賀詞交換会 エソール 広島

提案 北部の技師会会員の方の表彰について(宇山さん)

技師会として表彰していただけないかと働きかけをします。県の医療功労賞など調べてみます。技師会勤続30年、60年の該当する方がおられたらファイルを送りますのでよろしくお願いいたします。

新人の技師会の入会について、山口放射線技師会のデータでは、働きはじめて3年技師会に入らない人はほとんどそれ以降入らないらしいです。広島県技師会7000円から来年値上げ月100円を考えています。

平成22年度 第4回理事会議事録

日 時：平成22年12月25日(土)

14:00~16:10

場 所：広島大学病院 外来棟3F 中会議室

出席者：別紙に記載

議題

1. 中四国放射線技術フォーラム2010

高知報告

10月30日~31日に行われた中四国放射線技術フォーラムは参加者600名以上、演題数169題、懇親会参加者279名と盛大に開催された。フォーラムについての意見

- ・会長講演のスケジュールは一般演題と重ならないよう配慮してほしい。=次回プログラムのチェックを!
- ・日曜日のスケジュールをもう少し延ば

しても良いのではないかと？

フォーラムにて広島県放射線技師会は表彰された。(金一封も出ました)

2. 中四国会長会議 高知

- ・日本放射線技師会から県技師会に会員1人あたりに200円の負担金が出る見込み。

(足りなければ増える可能性もある。)

= 来年東京会議で決定予定

- ・会費集金業務は委託業務となる予定、23年度の会費より日本放射線技師会費と県技師会費を一緒に徴収する。

(会員にとっては以前と同じになる見通し)

- ・青森からプレゼンテーション

第27回診療放射線技師総合学術大会・第18回東アジア学術交流大会

日時：平成23年9月16日(金)～18日(日)

場所：青森市文化会館・ホテル青森

大会テーマ「国民と協働し、医療者と協働しながらチーム医療の質を高めよう」

目標 参加会員200名(市民含めて2500名)

各都道府県より会員の平均7%の参加

演題数400題

- ・前売券発売予定(5000円)、ご協力をお願いします。
- ・生涯学習セミナーについて
広島はMRIセミナー等が成功に終わり問題なし、他の中四国は動員数も少なく

難しい。

来年は鳥取でCTセミナーがある予定、出来るだけご協力をお願いします。

CTセミナーやMRIセミナー以外にマンモや消化管撮影セミナーなど幅を広げていきたい。

- ・公益社団法人について

未だに公益社団法人化に成功しているのは広島県だけ、鳥取や島根は公益化が難しい。

中沢会長「やるだけやってみて、ダメなら一般法人へ…」

放射線技師会全体でも公益化を勧めている。

3. 平成23年度の中四国放射線技術フォーラム

日時：平成23年11月26日～27日

場所：米子コンベンションセンター

(ビッグシップ)

〒683-0043 鳥取県米子市末広町74

- ・日本放射線技師会から50万円の負担金が出るので県技師会からの負担金は無くなるか、少なくなる見通し。
- ・演題募集、ご協力を。

4. 日本放射線技師会勤続30年50年表彰者

- ・広島県内には本年度の表彰者はなし。

5. レントゲン週間イベント報告・健康福祉祭報告(ガン検診に行こう含めて)

- ・平成22年度レントゲン週間イベント

日 時：11月3日（文化の日）

場 所：イオンモール広島府中ソレイユ

参 加：スタッフ33名 骨密度測定605名

- ・ T S S の取材がありニュースにも出て盛況に終わった。
- ・ 東芝のマンモ実機展示、コンパニオンによる実演もあり、好評だった。
- ・ イベントボランティアのマンパワーが不足…特にマンモに関するイベントの女性スタッフ
- ・ スタッフ登録制にしたらどうか？…ボランティア参加可能者のリストを作っては？
- ・ 次回の検討課題として残しましょう！

6. J A R T 主催MRI基礎セミナー中四国報告

平成22年度診療放射線技師基礎講習「MRI検査」(中四国)

日 時：平成22年11月14日（日）

場 所：広島県立広島病院 2 F 講堂

参加：69名（予約：73名）

問題点

- ・ 地域によって問題が違う（統一されていない）
- ・ 臨床技術能力検定MRI検査3級はいままでの通信試験と同じ扱い？（同じ扱いです）
- ・ 各検定の2級や1級は行われぬのか？（今のところ予定無し）
- ・ 検定のシステムが明確でない
- ・ 次回は鳥取県でCTセミナーがある。10月25日の時点で予約者6名

- ・ 日本放射線技師会の事業推進委員会（教育委員会）が解散、各都道府県に1名以上の教育委員をおく。運営についての詳細は未定…とりあえず様子見の段階。

7. 会員発表・公開講演・賀詞交換会について 第3回（公社）広島県放射線技師会研修会・市民公開講座

日 時：平成23年1月15日（土）

場 所：エソール広島

〒730-0043 広島市中区富士見町11-6

演題、プログラムについては別紙

- ・ 市民公開講座用のポスター制作を行う（ポスター配布は理事と業者さんで）
- ・ 市民公開講座は参加無料
会員による発表は会員は無料、会員以外は1000円（業者も入場可）
賀詞交換会は参加費5000円、業者の方も出来るだけ誘いましょう。
ちなみに公益化以降は賛助会員制度は廃止となる。

次回研修会は福山を予定

8. J A R T 臨時総会について

日 時：11月13日

- ・ 公益社団法人化へむけた改正案を立案（原案にて可決、その他15議案も賛成多数で可決）
- ・ 日放技と地方技は原則連動とする（広島の場合は、すり合わせ終了、広

島は全員連動している)

- ・入退会の規定が変わる可能性（高額だった再入会費制度が廃止され入退会は原則自由となる見通し）
- ・現在3月末の会費納入期限が以前のよう
に4月～9月末となる見通し
- ・支払いはゆうちょまたはコンビニでも
行えるようにする。
- ・日本放射線技師会の代議員の選出方法
（未定、広島は総会で採決予定）

9. 21世紀県民の健康と暮らしを考える会

21世紀、県民の健康と暮らしを考える広島
県民フォーラム

「安心してくらすために ～ご存じですか？
命の宝箱～」

日 時：平成23年1月22日（土）

場 所：アステールプラザ

内 容：講演　：もしもあの時「命の宝箱」
があったら　加藤 茶 氏

基調講演：無縁社会の危機

～縁をつくって生きていくために～

兵庫大学生涯福祉学部 教授

NPO日本医療ソーシャルワーク研究会

理事長上須賀子 氏

寸 劇：突然の病　その時あなたは！

～ ご存じですか 命の宝箱 ～

- ・広島県放射線技師会理事として手伝う
ことは特にありません。

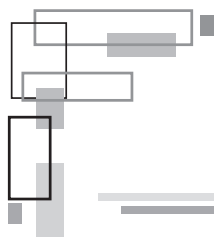
10. その他

平成23年度ソフトボール大会（平成22年度は
熱波のため中止）

：平成23年度、24年度大会を6月の第1日曜
日（平成23年6月5日）

次回の理事会

- ・日曜日の10：00～12：00はどうでしょう？
（とりあえず日曜日に行いましょう）
- ・3月に臨時理事会予定（決算の承認を得
るため）
- ・4月に定例理事会予定・3月に広島県
放射線技師会会誌を発行します。
内容：以前集めた自己紹介を載せます。
：施設紹介を西部呉地区からお願い
します。



会員情報

新入会員紹介

原 田 典 明	市立三次中央病院
柞 磨 和 範	福山市民病院
藤 原 稔	神原病院
本 城 圭 祐	日本鋼管福山病院
高 橋 佑 治	荒木脳神経外科病院
星 加 貴 大	広島シーサイド病院
中 本 健 太	県立広島病院
平 垣 剛	サカ整形外科
津 田 浩 平	興生総合病院
羽 原 幸 作	広島赤十字・原爆病院

転入

岡 平 伸 介	国立病院機構福山医療センター 香川県より
加 納 靖 久	三次地区医療センター 福岡県より
頼 田 典 久	マツダ病院 山口県より
大明地 裕 子	広島平和クリニック 山口県より
定 岡 大 祐	国立病院呉医療センター 島根県より
橘 昌 幸	広島国際大学保健医療学部 福岡県より
皿 田 勝 裕	J A広島総合病院 島根県より

転出

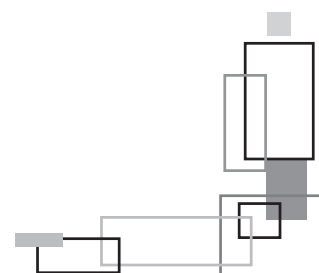
高 木 靖 幸	大分県へ
森 田 究	山口県へ
三 好 剛	愛媛県へ
熊 谷 佑 都	大阪府へ
酒 井 恵 梨 子	長崎県へ
安 藤 章	東京都へ
浅 枝 布 佐 子	愛知県へ
山 川 史 織	兵庫県へ

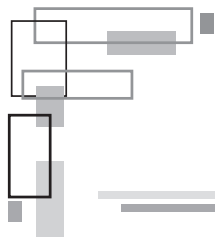
退会

桑 原 菊 次	自宅
升 味 弘 行	アマノ病院
幸 松 秀 則	大朝ふるさと病院 放射線科
原 津 治	マッターホルン病院
陰 山 未 央	医療法人あかね会土谷総合病院
古 田 達 巳	広島中央健診所
池 田 充 徳	尾道市立市民病院
斉 藤 浩 征	県立広島病院 放射線科
佐 伯 慎 治	三次地区医療センター
楠 本 茂 信	広島市立広島市民病院
田中丸 芳 樹	広島赤十字・原爆病院
大 上 智 美	自宅

除籍

夏 目 大 蔵	
大 元 和 志	
篠 原 均	
佐々木 幸 治	
倉 田 博 司	
中 村 悟	
田 中 多加世	
栢 原 雄 一	





互助会

■ ご結婚おめでとうございます

川 本 欣 幸 中電病院
森 岡 祐 司 呉共済病院
平 田 敬 子 広島市民病院
竹 板 大 貴 福山整形外科病院
吉 田 紀 子 神原病院
山 懸 裕 一 神原病院
大 原 希 予 三原赤十字病院
米 田 晋 司 三原赤十字病院
山 岡 優 巳 市立舟入病院

■ ご出産おめでとうございます

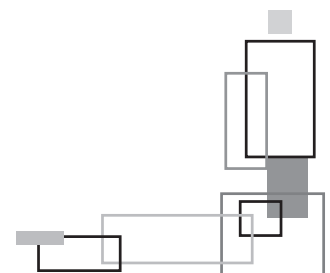
河 野 俊 宏 井野口病院
桑 田 知 子 セントラル病院
野 中 春 輝 土谷総合病院

■ お悔やみ申し上げます

石 田 順 一 通信病院（実母）
二 見 智 康 呉医療センター（実母）
瀬 戸 裕 行 福山市民病院（実父）

■ ご冥福をお祈り申し上げます

升 味 弘 行 アマノ病院（本人）





毎年届く新しいソフトウェア
 技術の進歩って
 凄いなあ



人と医療に役立つ製品作りを目指して・・・

A to Z for Excellence

株式会社AZE
<http://www.aze.co.jp/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目8番1号 丸の内トラストタワーN館13F
 TEL : 03-3212-7721 FAX : 03-3212-7722
 東京支社・関西支社・九州支社・北海道支社・中国支社・米国現地法人 AZE of America, Ltd.



ピー・エス・ピーに聞いてみよう。

- 001 ID:0010801 2011/01/11 09:58
ピー・エス・ピーってよく聞くけど、どんな会社？
- 002 ID:0000000 2011/01/11 10:02
21年の間、医用システムを追及しつづけています。
- 003 ID:0503302 2011/01/13 16:19
何をしているところ？
- 004 ID:0000000 2011/01/13 16:22
妥協しないフィルムレスPACSをつくっています。
- 005 ID:0080624 2011/01/13 18:48
信頼できそう？
- 006 ID:0000000 2011/01/13 18:54
豊富な実績から最適な提案を生み出します。
- 007 ID:0000000 2011/01/13 18:56
使いやすさと安心を届ける誠実さがあります。
- 008 ID:0305811 2011/01/14 08:46
どんなシステム？
- 009 ID:0000000 2011/01/14 08:49
撮影業務の効率、正確さを支えるRIS >ARIStation
- 010 ID:0000000 2011/01/14 08:51
画像の品質を保つ検像システム >EV Confirm net
- 011 ID:0000000 2011/01/14 08:54
3D画像の連携・院内配信もスムーズなPACS >EV Insite net
- 012 ID:0052039 2011/01/14 10:53
評判はいいんだよね？
- 013 ID:0000000 2011/01/14 10:56
よく効くシステムだと好評です。

もっと聞く



PACS イーヴィー・インサイト ネット

EV Insite net

特約店 広島テクニカル サポートセンター **ハイエレコン**

〒733-0834 広島県広島市西区草津新町1-21-35 広島ミクスビル5F
Phone 082 (279) 8001 E-mail hek09info@hek.co.jp http://www.hek.co.jp

ピー・エス・ピー株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布4-16-13 西麻布28森ビル http://www.psp.co.jp

PROGRESSIVE
SINCERE
PLEASANT

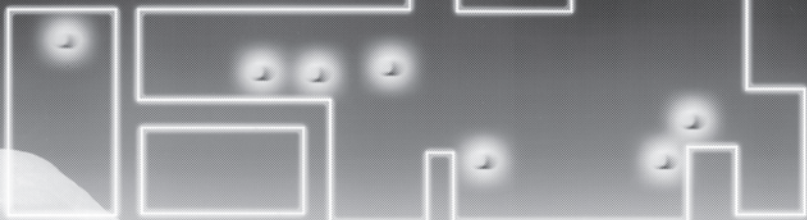
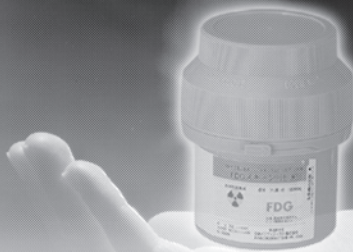
斬新な視点と 誠実な姿勢で 快適なシステムを
Public and social systems Solution Provider

～広がる FDG-PET 検査の可能性～

保険適用

デリバリーという選択肢

安定・高品質の製品を全国9ヶ所の拠点からお届けいたします。



放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬，虚血性心疾患診断薬，てんかん診断薬

処方せん医薬品^注

FDGスキャン[®]注

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F) 注射液

注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

原則禁忌(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)
妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔動物試験において胎児移行性が報告されている。〕

効能又は効果

- 悪性腫瘍の診断
 - (1)肺癌、乳癌(他の検査、画像診断により癌の存在を疑うが、病理診断により確定診断が得られない場合、あるいは、他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない場合)の診断
 - (2)大腸癌、頭頸部癌(他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない場合)の診断
 - (3)脳腫瘍(他の検査、画像診断により転移・再発の診断が確定できない場合)の診断
 - (4)膵癌(他の検査、画像診断により癌の存在を疑うが、病理診断により確定診断の得られない場合)の診断
 - (5)悪性リンパ腫、悪性黒色腫(他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない場合)の診断
 - (6)原発不明癌(リンパ節生検、CT等で転移巣が疑われ、かつ、腫瘍マーカーが高値を示す等、悪性腫瘍の存在を疑うが、原発巣の不明な場合)の診断
- 虚血性心疾患(左室機能が低下している虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織の¹⁸F-ブドウ糖診断が必要とされ、かつ、通常の心筋血流シンチグラフィで判定困難な場合)の診断
- 難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる場合の脳グルコース代謝異常領域の診断

用法及び用量

通常、成人には本剤1バイアル(検定日時において185MBq)を静脈内に投与し撮像する。投与量(放射能)は、年齢、体重により適宜増減するが、最小74MBq、最大370MBqまでとする。

使用上の注意

- 重要な基本的注意

診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与することとし、投与量は最少限度にとどめること。

- 相互作用
〔併用注意〕(併用に注意すること)

薬剤名等	措置方法	危険因子
膵臓ホルモン インスリン	本剤投与前4時間以内のインスリンの投与は避けること	本剤の腫瘍への集積とバックグラウンドとのコントラストが低下する可能性がある

- 副作用

本邦における臨床試験において、287例中13例(4.5%)に副作用(臨床検査値の異常を含む)が認められた。主な副作用は、気分不良1件(0.3%)、発熱1件(0.3%)、嘔吐1件(0.3%)、血圧低下1件(0.3%)であった。また、主な臨床検査値の異常は、尿潜血陽性4件(1.4%)、血中カリウム増加3件(1.1%)、尿糖陽性2件(0.7%)等であった。

その他の副作用

※自発報告につき頻度不明

	0.1～5%未満	頻度不明*
血液	好中球百分率増加、リンパ球百分率減少	—
腎臓	尿蛋白陽性、尿潜血陽性、尿糖陽性、血中尿素窒素増加	—
肝臓	血中ビリルビン増加	—
皮膚	—	そう痒感、発疹、紅斑、発赤
消化器	嘔気、嘔吐	—
その他	血圧上昇、血圧低下、気分不良、発熱、血中カリウム増加、血中カリウム減少、血中アルブミン減少	—

- 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。

- 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には原則として投与しないこと。授乳中の婦人には、原則として投与しないことが望ましいが、診断上の有益性が被曝による不利益を上回ると判断される場合にのみ投与すること。なお、授乳婦に投与した場合、24時間授乳を中止し投与後12時間は乳幼児との密接な接触を避けるよう指導すること。

- 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない(十分な臨床試験が得られていない)。

その他の使用上の注意については添付文書をご参照ください。

®:登録商標

資料請求先



日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 URL: <http://www.nmp.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ先

☎ 0120-076941

2009年6月改訂

消化管の診断に

処方せん医薬品
X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

◇パウダー製剤

硫酸バリウム酸 99.1%「共成」	バリトップHD
ネオバルギンEHD	バリブライトP
ネオバルギンUHD	バリブライトCL
ネオバルギンHD	バリコンクMX
	バリブライトLV

◇ゾル製剤

バムスターS200	バリトップゾル150
バリトップ120	バリブライトゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載



発売元



株式会社 **カイゲン**

大阪市中央区道修町2-5-14〔資料請求先 新薬本部〕
<http://www.kaigen.co.jp>

 SHIMADZU



洗練された画質と 新たな臨床価値の提案

最高レベルの検査環境を求め

島津製作所が世界に誇る直接変換方式FPDにより達成した最大2880マトリクスの超高精細画像と、その画質を最大限に活かした独自のアプリケーションによる新たな臨床価値の提供。

SONIALVISION safire17は臨床現場で今求められている、そしてこれから求められるであろうシステムへの期待をとらえた島津からの提案です。



X線テレビシステム
SONIALVISION
safire17
〔ソニアルビジョンセファイア〕

製造販売認証番号:220AB8ZX00261000

lomeron®

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン® 300 注 20mL/50mL/100mL
350 注 20mL/50mL/100mL
400 注 20mL/50mL/100mL

〈イオメプロール注射液〉

処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性造影剤 [薬価基準収載]

イオメロン® 300 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL
350 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL

〈イオメプロール注射液〉



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス® 静注 5mL/10mL/15mL/20mL
〈ガドテリドール注射液〉



処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること
非イオン性MRI用造影剤 [薬価基準収載]

プロハンス® 静注シリンジ 13mL/17mL
〈ガドテリドール注射液〉

ProHance®

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
ブラッコ・エーザイ株式会社
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元
エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

提携先
ブラッコ インターナショナル

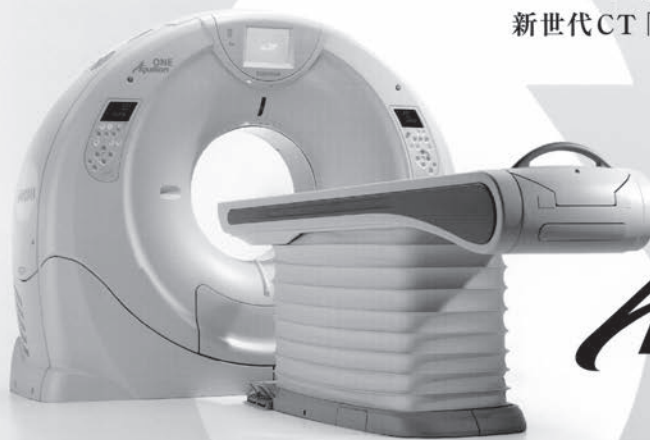
商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン ☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日9～17時)

CM1009M02

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

たった1回転で全脳が診える。心臓が診える。

Area Detectorが、1回転で全脳も心臓もフルカバー。
新世代CT「Aquilion ONE」の誕生です。



ONE
Aquilion
Area Detector CT



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

認証番号：219ACBZX00029000
東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-301A



世界69カ国で販売しております。

Optiray[®]は、
コヴィディエン ジャパンの
造影剤です。

Optiray[®]

「タイコ ヘルスケア ジャパン株式会社」は、「コヴィディエン ジャパン株式会社」に社名を変更いたしました。

非イオン性造影剤〈イオベルソール注射液〉処方せん医薬品[®] 薬価基準収載

Optiray [®] 160注 50・100mL	Optiray [®] 240注 シリンジ 100mL
Optiray [®] 240注 100mL	Optiray [®] 320注 シリンジ 40・50・75・100mL
Optiray [®] 320注 20・50・75・100mL	Optiray [®] 350注 シリンジ 50・100mL
Optiray [®] 350注 20・50・100mL	※注意—医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元
コヴィディエン ジャパン株式会社

医薬品事業部

〈資料請求先〉〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-39-11
フリーコール 0120-011-602



効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の添付文書をご参照ください。

COVIDIEN、COVIDIENロゴマーク及び“positive results for life”はCovidien AGの商標です。®を付記した商標はCovidien companyの商標です。©2010 Covidien.

1001 A4-1/2

FUJIFILM

処方せん医薬品^注
MRI用肝臓造影剤 フェルカルボトラン注射液

リゾビスト[®] 注

Resovist[®] Inj.

〈薬価基準収載〉

注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の
詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

販売元
富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋1-17-10 内田洋行京橋ビル TEL 03(5250)2620
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp

製造販売元(輸入)
アイロム製薬株式会社

神奈川県厚木市旭町四丁目18番29号

2010年4月作成





Make a leap in performance



Achieva 3.0T TX 超電導磁気共鳴画像診断装置

3.0T-MRの未来を招く新技術、「MultiTransmit」搭載。
 フィリップスヘルスケア www.healthcare.philips.com/jp

販売名: アーバ 3.0T TX
 医療機器登録番号: 221ACBZX00046000
 設置管理医療機器 / 特定保守管理医療機器
 管理医療機器

PHILIPS
 sense and simplicity






Change for good -DRX-1

Wireless, Smart Operation

DR化への効率的なソリューション。
 すべての理想型がここに誕生しました。

世界初のカセットDR、DRX-1 System誕生。

35x43cmの半切カセットと同じサイズなので、お持ちのカセットを交換するだけで簡単にDR化を可能にするCarestream DRX-1 System。ワイヤレスのため様々なポジショニングが楽にでき、画像データはすばやくそのまま無線で転送。スピーディー且つ効率的なソリューションがここに登場しました。

-  世界初のカセットサイズDR
-  既設のスタンド・ブッキー台に差し込むだけで、DRシステムへ
-  効率的なワークフローを実現するワイヤレス運用



ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-21-6 八丁堀NFビル ☎(03)5540-2260
 札幌 ☎(011)252-8072 名古屋 ☎(0561)64-2755 大阪 ☎(06)6534-7090 福岡 ☎(092)413-8460
 ホームページ <http://www.carestreamhealth.jp>

Carestream 
 HEALTH

食道から大腸まで

適確診断のために……

やさしさで温もりをもって届けたい。



薬価基準収載

処方せん医薬品 注意-医師等の処方せんにより使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 上部消化管X線造影剤

バリデスター A240散

バリトゲン SHD

■ 消化管X線造影剤

バリトゲン HD

バリトゲン ザル145

バリトゲン[®]

バリトゲン ザル

バリトゲン[®]-デラックス ウムブラMD

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター[®] 注腸散

■ X線CT用経口消化管造影剤

バリトゲン CT

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤

バリエース[®] 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

バリトゲン[®] 消泡内用液 2%

(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

ファースル[®] 錠 2.5mg

(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

FSK 伏見製薬株式会社

● 資料請求先 / 学術室

〒763-8605 香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801 名古屋営業所 / TEL 052-732-8555

大阪営業所 / TEL 06-6221-5101 中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

64列マルチスライスCTに、可能性という

HITACHI
Inspire the Next

新風景。

目指したのは、検査室入室から検査終了まで、途切れることのない「やさしさ」。そのため、日立は、0.1mmを、0.1mSvを、0.1secを、こだわりを持って改善しました。積み上げたスペックが「64列マルチスライスCT」の枠組みに、まったく新しい風景を広げます。技術や研究の進歩のためだけでなく、医療現場の「人」のために開発された、「64列を超える」64列マルチスライスCT SCENARIO～シナリア～、いよいよ日立から。

CT画像の新風景

日立独自のハード・ソフト設計により、従来の64列CTではなし得なかった高速・高画質を実現します。

やさしさの新風景

「使う人」のため練り込まれた新デザインと新機能が、途切れることのない安心感と確実な操作性を届けます。



64ch Multi-slice CT
SCENARIO

販売名：全身用X線CT診断装置 SCENARIO 医療機器認証番号：221ABBZX00081000

やさしさは、見える。

Caring with High-Definition

©株式会社日立メディコ 〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原UDX www.hitachi-medical.co.jp

GE Healthcare

Healthcare Re-imagined.

より早く、正確に。想像力の先にひろがるEarly Health。

想像を、実像に。いよいよその時がやってきました。
診療の原点を見つめ、私たちが探ってきたEarly Healthの可能性は
より具体的なアイデアを包み込んだ種子となり、あらゆる分野へ飛び立とうとしています。
患者さまのために、利用される皆さまのために、さらにはすべての人が
よりよい診療サービスをいち早く享受するために、画像診断技術はいかにあるべきか？
診療世界の次の10年を、より実りあるものとするために、
これまで超えられなかった壁を軽やかに飛び越え、理想形へと着床します。

Re-imagine・・・それは、診療のよりよい未来に、答えを出しつづけること。

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021
www.gehealthcare.co.jp



GE imagination at work



FUJIFILM



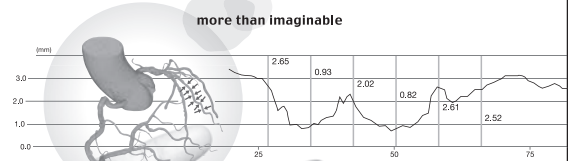
「この画像」が、
次の一手を決める。

SYNAPSEから、最も進んだ3D登場。

FUJIFILM独自の画像処理技術で高精度な自動抽出を実現し3Dの実用レベルを一気に引き上げました。解析フローに配慮した画面レイアウトでストレスのない直感的操作を実現。臨床ニーズに応える多彩なアプリケーションソフトを揃え、診断・治療計画をサポートする実用性の高い解析機能を搭載しています。



薬事販売名:富士画像診断ワークステーション FN-7941型 薬事承認番号:22000BZX00238000



ボリュームアナライザー
SYNAPSE VINCENT



※写真中の製品は第一製薬株式会社時仕様の包装です。

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

- 140 (血管用) 50mL、220mL
- 240 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
- 300 (尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
(血管用) 150mL
- 350 (尿路・血管用) 20mL、50mL
(血管用) 100mL
- 240シリンジ (尿路・血管・CT用) 100mL
- 300シリンジ (尿路・CT用) 50mL
(尿路・血管・CT用) 80mL、100mL
(CT用) 125mL、150mL
- 350シリンジ (血管・CT用) 70mL、100mL
- 180 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 240 (脳槽・脊髄用) 10mL
- 300 (脊髄用) 10mL



非イオン性造影剤

指定医薬品、処方せん医薬品*

薬価基準収載

オムニパーク®

OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

140 180 240 300 350

240シリンジ 300シリンジ 350シリンジ

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元 (資料請求先)



Daichi-Sankyo

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

0704 (0806)



**CONTRAST
MEDIA**

TERUMO®
人にやさしい医療へ

薬価基準収載

指定医薬品 処方せん医薬品*

MRI用造影剤

マグネスコープ®シリンジ

10mL 15mL 20mL (ガドテール酸メグルミン注射液)

指定医薬品 処方せん医薬品*

非イオン性X線造影剤

イマジニール® 300 350

20mL 50mL 100mL (イオキシラン注射液)

指定医薬品 処方せん医薬品*

尿路・血管造影剤

ヘキサブリックス®320

20mL 50mL 100mL (イオキサグル注射液)

処方せん医薬品*

リンパ系・子宮卵管造影剤

リピオドール®ウルトラフルイド

10mL (ヨード化ケチン油脂肪酸エチルエステル注射液)

注) 処方せん医薬品: 注意—医師等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意については、添付文書をご参照ください。

製造販売元

ゲルベ・ジャパン株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5番10号

販売元 (資料請求先)

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号 <http://www.terumo.co.jp/>

マグネスコープ、イマジニール、ヘキサブリックス、リピオドールは、ゲルベ社の登録商標です。Ⓞ、TERUMOはテルモ株式会社の登録商標です。©テルモ株式会社 2006年8月

HORII PHARM.IND.,LTD.

処方せん医薬品

より確実な診断のために



High Density

胃二重造影用硫酸バリウム×線造影剤

バリコンミール®

薬価基準収載



- 大粒子特性による高濃度・低粘性
- 明瞭なコントラストと鮮明な粘膜描出
- 優れた透視観察能
- 少量服用による二重造影診断域の拡大

袋入り	ボトル入り
300g×40	300g×24
400g×30	400g×24
1.2kg×10※	300g×30※
	340g×30※
	1.2kg×6※
	4kg×3※

※集検用

胃・腸の診断を通じて奉仕する



堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481(代)

(資料請求先:学術情報部)

0120-010-320

http://www.horii-pharm.co.jp

*禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

2007年5月作成 1



AquariusNetStation

薬事承認番号:21400BZY0019

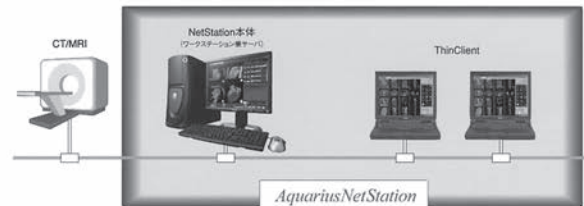
革新の、さらにその先へ画像配信機能を加えた新世代ワークステーション
ワークステーションとして豊富な各種3D機能及び解析機能を保有するだけでなく、端末にはThinClientとして汎用PCが活用できます。
また、MPR、3Dの高速処理を実現しワークステーションが持つ能力を最大限に発揮させます。

- 汎用PCへの高速画像配信!
- 豊富な処理機能を搭載!
- 高度な作業を単純化!
- 高速に高精細画像を実現!

より高度化、多様化したモダリティ環境に対応する、ネットワーク型アドバンスドワークステーション

配信機能を搭載した高性能Workstation

ネットワーク上の汎用PCを端末(ThinClient)として使用でき、2D、3D、4Dの画像処理をシンプルな操作で高速表示可能です。



ハイパフォーマンスを実現したWorkstationとThinClientへの高速画像配信

高速ボリュームレンダリングアクセラレータボードVolumePro1000/2GBを搭載により、NetStationとThinClient双方から同時に大量スライス画像をアクセスすることが可能です。通信は、独自のインタラクティブストリーミング方式を採用しており、インフラや端末のPCの性能に依存することなく、高速な画像配信が行えます。



株式会社エルクコーポレーション

医療システム営業本部
大阪市中央区東高麗橋1番15号
東京都文京区湯島2丁目17番4号

TEL (06) 6942-0691

TEL (03) 3814-4956

http://www.elkc.co.jp

札幌 (011) 736-0010・仙台 (022) 236-3621・福島 (024) 961-8521・新潟 (025) 243-6391
 札大 (048) 663-2221・千葉 (043) 276-5541・東京 (03) 3814-7851・横浜 (045) 474-6661
 静岡 (053) 431-3277・名古屋 (052) 531-6231・金沢 (076) 237-7511・京都 (075) 691-5101
 大阪 (06) 6942-2301・神戸 (078) 651-2601・岡山 (086) 232-6721・広島 (082) 232-1341
 鳥取 (0859) 32-3261・山陰 (0852) 23-2711・高松 (087) 865-1511・福岡 (092) 472-0241
 鹿児島 (099) 266-3141

開発製造元: TERA RECON, INC. 日本支店: 東京都港区芝公園2-11-1 住友不動産芝公園タワー14F

